

フォークリフトを起因物（小）とする死傷災害発生事例（2017年）

年	月	発生時	死傷災害発生事例	年齢	業種 (小)	事故の 型	労働者 規模
2017	1	9～ 10	馬鈴薯倉庫からフォークリフトにて馬鈴薯を運送会社のトラックに積み込む作業時に、本人がリフト（プラッター）運転中に左足を車外に宙ぶらりんに出し、トラック後部との間隔を確認せず、トラック後部のラバー部分と接触して、足が挟まれ、左足脛を骨折した。	30	80109	7	30 ～ 49
2017	1	12～ 13	フォークリフトを使いトラックへの積み込み作業中、リフトにサイドブレーキを掛けてトラック荷台に乗り込んで作業をしていた所、リフトがトラックの方に向かって動き出してきた為、リフトを止めようと荷台から降りたが間に合わず、リフトとトラックの間に挟まれ受傷し骨折した	46	40301	6	10 ～ 29
2017	1	18～ 19	倉庫内作業中、被災者が、フォークリフト作業中の倉庫内作業員のそばに近づいた際、フォークリフトと接触し負傷した。	30	80401	6	1～ 9
2017	1	3～4	当社、販売所キャベツを積んだパレットをリフトにて移動中、キャベツを置きバックした際、左後部で作業していた被災者の左足子指を、リフトの左後部タイヤにて轢いてしまった。	51	80109	7	10 ～ 29
2017	1	17～ 18	トラックのバックカメラを拭くため、フォークリフトの爪に立ち、体の向きを替え拭こうとした時、足がすべり、1.6m下のコンクリートの地面に落下し、体の左側面を強打し、左足指骨折および左ひじにひびが入った。	53	40301	1	1～ 9
			工場環境保全（水処理）現場にて、架台上でコンテナ誘導作業中、				

2017	1	8~9	フォークリフト運搬中のコンテナと架台の間で、フォークリフト操作者が操作を誤り（ギアを抜かず、サイドブレーキを引きブレーキを離しエンスト、リフトが動きコンテナが動く）、誘導中の傷病者が架台とコンテナの間に指を挟まれ骨折した。	55	10801	7	100 ~ 299
2017	1	16~17	当社構内荷受け場に於いて、お客様の車を誘導中、バックしてきた同僚の運転するフォークリフトと衝突して転倒し、左足首を右後輪に踏まれ、圧挫傷した。	28	80109	7	—
2017	1	9~10	片付け作業中、積んである石材を移動中に荷崩れを起こしてしまい、右足に落ちて怪我してしまった。	50	30309	5	—
2017	1	9~10	事務所内で業務中、書類ケースに日焼け防止の紙を貼るため、フォークリフトで揚げた高さ140cmのパレット上で、上部をテープ止めし次にしゃがんで下部を止め、立ち上がろうとしたときにバランスを崩して転落し、肩・頭・背中 of 順に落ち、頭部を打撲負傷した。	79	80401	1	30 ~ 49
2017	1	13~14	荷主先で10トン車の引取物（鉄製の網カゴで荷台前方の右側2段左側3段積みで抱き合わせ状態）を降ろしてもらう為、先に右側のアオリを開けた。次に左側のアオリを空けるため3ヶ所あるキャッチの2つ目を外している時、荷主先のフォークリフトマンが右側から引取物を降ろしかけたが、フォークリフトの爪がうまく刺さらず、左側に積載していた取引物とも勢いよく押し込んだ為、左側のアオリが押されて急に開き、右頬を強打し転倒した。	42	40301	6	1~ 9
2017	1	9~10	ホーム内において件数員とバック走行中のリフト（作業員）が接触した。作業員は後方に歩き出し、作業員はリフトで荷物を移動する為の後方に移動、右旋回しようとした時にリフトの下部が作業員の右足踵に接触した。	47	40301	6	50 ~ 99
2017	1	14~15	現場にて、発砲後の原板を高さ1mほどの金属製の枠付き台車にのせて、運搬する作業中、製品が目の高さまで搭載し前方が見えにくい状態だった為、前方から原料を運搬するフォークリフトにぶつか	41	10805	6	30 ~

			り台車の取手で胸部を強打し負傷した。					49
2017	1	14～ 15	生産棟・第二グループ発泡工程現場にて、発泡後の原板を高さ1mほどの金属製の枠付き台車に乗せて運搬する作業中、製品が目の高さまで搭載し前方から見えにくい状態だった為、前方から原料を運搬するフォークリフト（就業先社員が運転）が近づいたことを気づくのが遅れ、台車を動かして避けようとしたが、フォークリフトにぶつかり台車の取手で胸部を強打し負傷した。	41	170101	6		100 ～ 299
2017	1	13～ 14	従業員が構内でフォークリフトを運転してパレットを移動し、後方を確認せず後退させた時に左後方にいた被災者の右足部分を轢いてしまった。	63	30301	7		1～ 9
2017	1	11～ 12	配達途中にタイヤチェーンのクロスが切れたため、センターへ帰社し、別のチェーンを取り付けるためにフォークリフトの爪を車両後方のステップ下へ10cm程差し込み車体を持ち上げた。右後輪のチェーンを取り付け作業中、車体が前進し、フォークリフトの爪から外れ落下し、右手首がタイヤの下にあったため挟まれ、裂傷及び打撲を負った。	63	40301	4		10 ～ 29
2017	1	9～ 10	被災者は取引先である構内を歩行中、従業員運転のフォークリフトが、後方確認せずにバックで左方向に方向転換してきた為、背後から接触し転倒し、左足をフォークリフト左タイヤに踏まれ負傷した。	44	40301	7		1～ 9
2017	1	11～ 12	当社工場内に於いて、シャッター横の引き戸から台車を後方向きに戸外へ出て通行しようとした時に、同僚がフォークリフトで作業をしているのを確認していたがフォークリフトの後方を通過できると判断し通行した。その際にフォークリフト運転手に声掛けによる注意喚起をせず、運転手もフォークリフト後部への注意を怠った為、フォークリフトと接触し転倒し、右足脛を骨折した。	79	11301	6		100 ～ 299
		16～	会社の構内で、翌日の自販機の積込作業中、運転手が後方確認を					

2017	1	17	怠った為、事務所から倉庫に移動中の同僚の右足首をフォークリフトの左後輪で轢いた。	62	40301	6	—
2017	1	11～12	工場内にてトラックに積み荷の為、商品管理作業中、リフトのフォーク（爪）約1m上から足を踏み外し落下し、その際にフォークで胸部を強く打ち負傷する。	60	40301	1	10～29
2017	1	8～9	被災者はリスラリー工程で使用する原料を確認する為、歩行で倉庫へ移動し、倉庫入口から進入する際に、倉庫入口付近で運搬作業をしていたフォークリフト作業員（操作者）は後進して来た為、お互いに気付かずフォークリフトの右後部に接触し、右後輪に左足を轢かれ、左足裏を裂傷し、左中足骨骨折になった。	59	10801	7	100～299
2017	1	18～19	垂直搬送機付近で商品の仕分けをしていた被災者の右足がリフト通路側にまで出ている事に気付かず、前進してきたリフト作業員に右足を轢かれた。	18	40301	7	300～499
2017	1	15～16	倉庫内でダンプ（2tロング）から不燃物をフォークリフトのパレットに積んだ後、パレットからフォークリフトづたいに降りる途中、バックレストに両手で掴まりフォークリフトのタイヤとのカバーに右足を掛けたとき、フォークリフトに掴まっていた手（手袋着用）が滑り、高さ約80cmのタイヤ上のカバーから地面につま先より落下し、右足アキレス腱を断裂し、転倒した。	57	150103	1	10～29
2017	1	16～17	SSプラント製品引き取り場所で製品の引き取り作業中、フォークリフトから降りるとき、地面に足が着いた際に左足首を外側に捻り、左足関節外側の靭帯を損傷した。	41	40301	19	30～49
2017	1	3～4	リフトで運搬作業中、狭いところでパレットの向きを変えようと手で引っ張ろうとしたとき、後ろ向きに転びそうになり、左手をついて転倒し肩を強打した。	75	80209	1	50～99
2017	1	15～16	弊社得意先、構内に於いて、集荷応援のため、商品を載せるパレットを後ずさりしながら数をとっていたところ、足がもつれ転倒し、通りかかったフォークリフトに左足踵下を轢かれて受傷した。	65	40301	7	1～9

2017	1	17～ 18	仕上げ室にて、空荷リフトをバックで運転し車体の後に降りようとした。完全停止をする前に左足を車外に出してしまった為、パレタ柵と惰性で動いているリフト後部に左足が挟まれ、左足かかと付近を裂傷した。	25	10109	7	10 ～ 29
2017	1	2～3	顧客先へダンボール配送を行い、積み降しの作業でパレットの上にダンボール（1.1m×1.1m）を積み、落ちないように手で押さえていたがバランスが崩れ、1つのダンボールの角が安全靴から出ている足の甲に当たり負傷した。	37	40301	4	30 ～ 49
2017	1	22～ 23	当社にて、事務員Aがフォークリフトにて大型車両への積込作業中、Aが後退時に後方確認を怠り、後方にて台車を引いていた運行者Bの右足に後突し、台車とリフトに挟まれ負傷した。	52	40301	6	50 ～ 99
2017	1	16～ 17	現場事務所で指示を受けた作業者が、製品を取ってバックで走行中（5km位）のフォークリフトに気付かず、振り向いた時にフォークリフトと接触し、前輪に右足先を挟まれた。	22	10805	7	100 ～ 299
2017	1	9～ 10	当社の倉庫内に於いて、床に置いたままの業務用空調機室外機を片付ける為、当社社員がフォークリフトにのせ荷物用パレットに載せ様とした時、リフトに載せた室外機が不安定だったので、別の社員2名が左右から補助的に支えながら移動作業を行った。補助的に支える作業そのものが危険作業であるにも係らず、安全確認および注意を怠りリフトを前進させた為、フォークリフトの右前輪で社員の左足親指のつま先を踏んでしまった。	29	30309	7	1～ 9
2017	1	0～1	リフトマンがパレットを積み、緩衝材を挟むため荷台へ乗り降りしていた際、荷台に手をおいたときにリフトマンが800kgのパレットを置いたため、指が下敷きになった。	56	40301	7	10 ～ 29
2017	1	15～ 16	工場にて、リーチリフトに乗車し荷卸し作業中、リーチリフトを後進させている時に、後方の壁に衝突した。その衝撃で左足をリフト外につき、後輪部分に巻き込まれ骨折し、転倒した際に臀部も強打	31	40301	3	100 ～ 299

			し骨折した。				
2017	1	9~10	木製品をトラックより荷降ろし中、リフトが抱えて方向転換をした際、リフトがバランスを崩し、前方へ倒れようとしたため、一旦そのまま地面へ下げ、地面との間にリン木を差し込もうとしていた。前方に差し込もうとリフトの爪先を上げてリン木を差し込んだ時、リフトが前方へバランスを崩し、製品とリン木との間に左手人差し指が挟まり負傷した。	59	10401	7	30 ~ 49
2017	1	8~9	営業所にて、廃棄物の入った袋を分別エリアに運ぶため、フォークリフトに袋の取っ手をセットする作業中、取っ手がはずれたので手で持って支えていたところ足が滑り、左足先をフォークリフトの左側前輪に踏まれ負傷した。	33	80109	7	1~ 9
2017	2	16~17	工場敷地内に於いてフォークリフトを使用し積込作業時パレットのゴミを落とす為、リフトのつめを上下に振動させた時（行ってはいけない事）マスト上部のテンションローラーとチェーンに不具合が起きた為、手で直そうとした時チェーンとローラーの間に指を挟んだ。通常外れない場所なので少し引っ掛かった状態になっていた為、触った位で外れたと思われる。	41	11709	7	10 ~ 29
2017	2	17~18	4t車への積込作業中にトラック荷台を移動する際、近くにあったフォークリフトの爪に足を掛けて滑り転倒した。左脇腹をフォークリフトの爪に強打した。	49	11101	1	10 ~ 29
2017	2	10~11	当社工場内に於いて、作業員が溶接後の柱の溶接屑を取るためにフォークリフトで柱を回転したところ柱が資材置場のH鋼に当たり、高さ60cmの所からH鋼（100×100×9000：150kg）が落ちてきた。近くで作業をしていた当人の左足ふくらはぎに当たりふくらはぎを裂傷し負傷した。	57	11209	6	1~ 9
2017	2	14~15	荷主倉庫で荷物を積み込み作業中、パレット積荷物と荷物との間に緩衝材を入れる際フォークリフトのスライドに気付くのが遅れ、左手中指をパレットとパレットとの間に挟まれ負傷した。	36	40301	7	10 ~ 29

2017	2	13~14	第三倉庫内仕分け作業場にて、被災者がダンボールをパレットに高く積み上げ、そのパレットをフォークリフトが運搬するという作業中、高く積み上がったダンボールで被災者が死角になっており、又声で注意喚起をしたが被災者は聞こえておらずフォークリフトがパレットに爪を差し込んだ際、パレットの前にいた被災者の左足に当たった。	30	170101	6	1~9
2017	2	10~11	作業所内を移動していたところ、作業所内でバック走行していたフォークリフトに接触したため、転倒し負傷した。	30	80109	6	50~99
2017	2	10~11	本社車庫にて弊社従業員Aがフォークリフトに乗りパレットの整理、移動（積み替え作業）を行っていた。従業員Bがフォークリフトに乗っていたAに話しかけ移動した。Aは自分の視界からBが見えなくなったので側にいないものと思い作業を再開した。Aがフォークリフトをバックした時にBが倒れていたのに気づいた。Bはフォークリフトの後方に行っていた模様。	43	40301	7	30~49
2017	2	9~10	1階出荷バースにてフォークリフトで商品の仕分けをしていたところ、バックでオートレータ前を移動した際、昨夜からの雨で床が濡れて滑りやすくなっており、フォークのブレーキが利かず、プラットフォームから落ちると思い慌てて左足を地面に降ろし、落下防止ガードとフォークに左足を挟んだ。安全靴を履いていたが、その上の部分を挟んでしまった為、防ぐことが出来なかった。	60	40301	7	100~299
2017	2	8~9	本社工場にてフォークリフト荷役作業員へ荷物の降ろし場所を指示するためフォークリフト左側面に近づき荷役作業員へ指示したところ、フォークリフトが右旋回しフォークリフト後方のウエイト部分が左側へ大きく動いたため、身体が接触し、バランスを崩して転倒し、右足がフォークリフト左後車輪に挟まれた。	37	50101	6	10~29
			本社工場内で品物を上部のラインにかける作業を行っていた際、少し時間が空きその場に止まりラインを見ていた。この時同僚運転の				

2017	2	14~15	フォークリフトが左後方から近づいてくるのに気付かず、また同僚は被災者がリフトに気付いているものと思い、左前方の品物をすくうため右にやや旋回しながら被災者が近づいた際、リフトが被災者と接触し、右車輪で被災者の左足を踏んだ。	67	11709	7	10 ~ 29
2017	2	11~12	テント倉庫で、別の作業員が運転するフォークリフトの転回範囲内で運転のアドバイスをしていた。その際、急に右旋回したフォークリフト後部にぶつかり転倒し、更にその上にフォークリフトの後輪が乗っかり、両脚を轢かれた。	67	10203	7	50 ~ 99
2017	2	14~15	B棟東側入り口付近にて、パレット格納用ラック（90cm×100cm×150cm）（以下逆ネスラックと言う）を三段に積み一段目の上部にフォークリフトの爪を刺し、壁際を部屋の奥へ移動していた。支柱の壁が緩やかに内側に傾斜していることに気が付かず壁際ギリギリを前進中、上段で音がしたため左側から確認をした時、上部の逆ネスラックが壁と接触しフォークリフトの屋根に落下した。左に頭を出していたため、接触した。	30	40302	4	10 ~ 29
2017	2	15~16	パレットに積載した米（約1t）を別の空パレットに積み替える作業を従業員2人組で行っていた。被災者の指示で、フォークリフトを運転している相手方が米を積載したパレットを完全に下まで下ろすことになった際、フォークリフトを運転していた相手方はパレットの下に被災者の足が来ていることに気付かず、パレットを降ろしてしまい、被災者の左足親指が下敷きになってしまった。	55	60101	7	1~ 9
2017	2	8~9	第2工場西側シャッター付近で製品搬送作業中にフォークリフトに製品を乗せてバックしながら曲がって外に出たところ、第3工場へ向かっていた被災者と接触し右足を負傷させた。	65	10805	6	30 ~ 49
2017	2	19~20	倉庫内で、レイアウトの変更作業中に近くでパレットを準備していたリフトを持っていたパレットのバランスを崩し、パレットがリフトの左側へ崩れる。作業員に対して、逃げる様に声掛けを行ったが	47	40301	5	10 ~

			避けきれずに、本人右足に接触し、その勢いで足をすくわれ、右腕側よりパレット上に転倒した。救急搬送後、打撲と診断されるが、翌日の検査の結果、右肋骨骨折と診断される。					29
2017	2	0~1	工場内からポット置場にて、フォークリフトを使うポット清掃のやり方を新入社員に教えようと手本を見せ新入社員にフォークリフトに乗るように指示を出して、フォークリフトに乗せ、被災者はフォークリフト左後輪近くに立ち指示を出しながら教えていた時に、新入社員がフォークリフトに乗り慣れていないこともあり、バックで急発進したこと、左後輪が被災者方向に向いていたことが重なり、左後輪で被災者の左足を踏んでしまい負傷した。	34	11101	7	~	29
2017	2	16~17	倉庫内にて、住宅廃材の仕分け作業中、ともに同場所にてリフトに乗務し、パレットの移動を行っていた作業員が後方を良く確認せず、バックした為リフトの左車輪と被災者の右足が接触し、骨折、裂傷した。	67	40302	7	~	49
2017	2	11~12	倉庫内にて、新人作業員に製品の在庫作業の指導を行う為、リフトに乗務させていた。製品が入庫し、その製品の検品作業を教えながら、リフト後方で台帳にチェックをしていた際、リフト作業員が後方を確認せずバックをした為、リフトの後方左車輪と被災者の右足甲が巻き込まれ、裂傷した。	62	40302	7	~	49
2017	2	20~21	コンテナ仕分作業場付近、パレットに積んだキャベツをウォークリストで冷蔵庫に運搬作業中、後ずさりしていた時、スペースの空き間隔が分からず、柱にぶつかり、右足がウォークリフトのタイヤに巻き込まれた。	40	80209	7	~	299
2017	2	18~19	倉庫内にて、作業中に右側を走行しているリフトが急ハンドルを切った為、接触転倒し、その際に左足下部を轢かれた。	53	40301	6	~	29
			本社営業所車庫において、フォークリフト運転の練習をしていた同僚と打ち合わせを行った。乗車したまま停止していたフォークリフ					100

2017	2	15~16	トの左側に立ち、話をしていたところ同僚が誤ってフォークリフトを発進させた。その時ハンドルが右にきられていたため、フォークリフト左後輪に右足を踏まれ右足小指部分を亀裂骨折した。	27	40301	7	~ 299
2017	2	11~12	作業者が通路右側を台車を引きながら、歩行していた。事故現場に差し掛かった時、リフト作業者が後退した。通路に出て、左旋回した際、右手後方の確認を怠り、作業者に接触した。作業者左足をリフト右後輪に踏まれ受傷した。	69	50101	7	100 ~ 299
2017	2	10~11	プラットフォーム上でハンドリフトを取りに行った時に作業中のリーチリフトの左前輪で左足かかとを踏まれ挫傷した。	37	40301	7	30 ~ 49
2017	2	11~12	場内にて20tフォークリフトで部材運搬業務中、当該被災者はフォークリフト業務の手元補助に従事していた。第5工場北側ストックヤードに停車し、降車して作業中、他同様フォークリフトが接近してきたため、通路を譲ろうと移動する際に、当該者がフォークリフトに乗車しようとし、転倒した。フォークリフト運転手から当該者が見えておらず、当該者の転倒に気が付かないまま通路を譲る為に移動したフォークリフトの後輪に左脚を巻き込まれ被災した。	56	10901	7	30 ~ 49
2017	2	11~12	場内にて20tフォークリフトで部材運搬業務中、当該被災者はフォークリフト業務の補助要員として作業に従事していた。第5工場北側ストックヤードに停車し、降車の上作業中、他の同様リフトが接近してきたため、道を譲ろうと移動を開始した際に、当該者がフォークリフトに乗車しようとして、転倒した為、リフト後輪にて左脚及び右脚を巻き込まれ骨折した。	56	170101	7	100 ~ 299
2017	2	8~9	第4工場で、電動ウォーカーリフトで鍛造品を1パレット運搬していた。場外の鍛造品置場から検査場内に運び込もうと後退していた時、背後にパレティーナがあり、行き場を失って左足にウォーカーリフトが乗り上げて被災した。	19	11502	7	100 ~ 299

2017	2	22~23	荷卸し後、リフトを使用し荷台の積み替えを実施した。パレットとパレットの間にコンパネを立てて、商品の接触を防ごうとしたら、コンパネが車幅から出てしまい、コンパネと抜こうと荷台で作業をしていたら、手が滑って荷台の下に落下した右手をついた時に、右手首の骨にヒビが入った。	48	40301	1	10 ~ 29
2017	2	18~19	倉庫内でフォークリフトの横に乗っていて走行中に降りようとして右側後輪に右足を轢かれた。	30	80109	7	10 ~ 29
2017	2	17~18	当社第一工場紙管製造現場で、NC切断機の切芯交換作業をしている時に、2人（別の労働者）で機械から切芯を外してマンドレル保管棚に運ぶ作業をしている際に、フォークリフトのつめ部分があることを目視しているにもかかわらず実際との感覚のずれから、つめ部分に躓きバランスを崩し、マンドレル保管棚に切芯をかついだままぶつかり右母指基節骨・右手背・右肩・右鎖骨を負傷した。	59	10609	3	10 ~ 29
2017	2	9~10	工場内で、フォークリフトから降りる時、下の角材で足首をひねり、負傷した。	45	10401	19	1~ 9
2017	2	15~16	当社倉庫内でフォークリフトに取り付けた長爪を外そうと手で抜く作業を行っていたところ、長爪が抜けきった時に長爪の後部が地面に落下した。そのはずみでバランスを崩し長爪を支えていた両手が地面と長爪に挟まれそうになり、咄嗟に両手を離したが左手中指先端が強く地面と長爪に挟まれた。痛みがあったが、そのまま仕事を続け仕事が終わった後病院に行き、診断の結果左手中指が骨折していた。	54	40301	7	10 ~ 29
2017	2	14~15	事務所の入口付近で機械の運搬の為、プラッターを操作していたところ、操作を誤り、パレットに接触した。その際、バランスを崩し右足がプラッターから外に出て、パレットとプラッターに足先が挟まれて負傷（骨折）した。	29	80409	7	—
							10

2017	2	9~10	積込中に荷物の数量を確認していたがフォークリフトのタイヤで左足を踏まれ骨折した。	47	40301	7	~ 29
2017	2	17~18	PCストックヤードにおいて移動式クレーンのアウトリガーの敷板を片付けて、パレットの片付けをしようとフォークリフト右側から乗り込む際に右足がステップから滑りフレームに右手を掛けていたのが右肩関節に負担がかかり脱臼した。	32	10901	19	50 ~ 99
2017	2	15~16	農道1本路で左側にフォークリフトを右側に社員2名で平行に進んでいた。走って帰っていた途中で、躓いて転んでしまい、左リフト側に倒れた瞬間、リフトのタイヤが足首から膝までに接触し、痛みと出血ですぐ病院に行った。	41	70209	3	1~ 9
2017	2	23~24	フォークリフト部品出荷作業中に、客先社員が同現場にてフォークリフトで作業を行っていたので7m程後方で待機していた。作業終了まで待機していたが、客先のフォークリフトがバックしていた。当然後方確認していると思ったが減速する様子が見られなかったのでクラクションを鳴らしたが間に合わずフォークリフト同士が接触し、頸部・腰を痛めた。	36	170101	6	50 ~ 99
2017	2	23~24	製品補充者がピッキング作業場へ製品補充後、バックで走行していた時、出荷作業者が製品確認のため、その後方で待機していた。製品補充者がバック走行で下がって来たが、出荷作業者が自分に気付いていない様だったので慌ててクラクションを鳴らした。製品補充者はその音でブレーキを踏んだが間に合わず、出荷作業者のフォークリフト爪部分と製品補充者フォークリフトの後部が接触した。	36	11502	6	1~ 9
2017	2	15~16	当社営業所内にて、商品の出荷作業中に被災した。被災者は、商品梱包に必要なダンボールを棚（高さ260cm）から取ろうと、フォークリフトの爪（鉄製、12×22cm、厚さ1.5cm）に乗り、同僚に爪を250cm程の高さまで上げてもらい段ボールを取ろうとしたところ、足を滑らせ地面に落下した。右肩より落下したが、最終的にはうつ	44	80209	1	—

			伏せ状態になり、顔面（口唇）、右肩～右上腕、胸部、両脚を負傷した。なお、被災者は、ヘルメットを着用していなかった。				
2017	2	5~6	冷蔵庫前のコンテナ下段に製品を詰めている時に、下段が詰めにくいためコンテナを持ち上げようと進入してきたフォークリフトの爪とコンテナの間に足を挟まれた。それ程重症とは思わず、湿布を貼って様子を見た。	62	10102	7	1~9
2017	2	18~19	大根加工場で、出荷作業終了間際に加工場の外の作業員に流れ作業の終了を伝える為、移動する際に走ってしまい、鉄コンの陰で止まっていたフォークリフトが見えなかった為、爪のところにぶつかり、左脛のところを負傷してしまった。	37	60101	3	30~49
2017	3	11~12	本社工場内において、フォークリフトのフォーク（積荷台部分）の高さを変更するため、左側のフォークを外してフォークレールに掛けたが、掛け方が浅かったのでレールよりはずれて落下し、左足を負傷した。	64	10109	4	10~29
2017	3	5~6	ウォーター物流の仕事で現地に到着し、ヘルメット着用してから作業を始めたところ、リフト作業をしているときにパレット（高さ約2.5m）の所から足を踏みはずして落下した。	60	40301	1	10~29
2017	3	10~11	発送口テント下で荷物を搬出中、パレットからハンドリフトを抜くために後ずさりしたところ、同じく搬出中で右からバックしてきたフォークリフトの左側後輪に右足をひかれた。	60	10701	6	100~299
2017	3	13~14	肥料倉庫にて、空パレットを取るため、左旋回走行しているリフトに背後から近づいたため（リフトについている伝票を取ろうとした）、リフトのタイヤで左足を踏まれた。	49	40301	7	1~9
2017	3	17~18	会社の冷蔵庫内で、被災者がフォークリフトで商品の移動作業中に、通路の反対側から接近してきたフォークリフトの発見が遅れ、すれ違いができるように通路をあけようとして急にハンドルを切り、レバー操作を腕で行っていたことで右腕がフォークリフト本体から出ており、右腕上腕部を保管用ラック柱とフォークリフトヘッ	19	40301	3	100~299

			ドガードピラーで挟んでしまい、右肘を挫傷した。				
2017	3	8~9	被災者は新造船内にて施工箇所（天井）の確認を行っていた。付近では別の作業者がフォークリフトにて運搬作業を行っていた。被災者はフォークリフトが離れた位置にあるのを確認後、当該施工箇所を見上げて確認していたところ、同フォークリフトが被災者方向に後退してきており、互いがそれに気づいていなかったため接触し、被災者は転倒し、右足がフォークリフト右後輪に踏まれ受傷した。	60	11501	7	10 ~ 29
2017	3	13~14	出庫ヤードにて、フォークリフトによる原料の搬入作業と雪による倉庫床面のタイヤ痕清掃作業を2人1組で行っていた。清掃作業者が出庫ヤード内のグレーチング部分でモップの水切りを実施中、バックしてきたフォークリフトと接触し、右足を挟まれ骨折した。	38	11403	6	100 ~ 299
2017	3	11~12	取引先の敷地内において、フォークリフトで廃棄するパレットを2tダンプの荷台に積込を終え、リフトを運転していたA従業員は、ダンプの後方へリフトを移動させようとした際にリフトの切り替えスイッチをバックに切り替えたと勘違いし、アクセルを踏み込んだところ、リフトが前進しダンプの荷台にリフトの爪部が当たったとき、ダンプ荷台から降りようとしていた被災者の両足が荷台とリフトの爪部に挟まれ負傷した。	58	150109	7	1~ 9
2017	3	11~12	工場南側の下屋下において、パレットを移動するため、フォークリフトをバックしたところ、安全確認の不足により、後方を移動していた職員の右足先をフォークリフト右後輪でひいてしまい、怪我をさせた。	65	80109	7	10 ~ 29
2017	3	6~7	構内にて積み荷を歩いて探していたところ、本来立ち入ってはならない作業中のフォークリフトの2m以内に進入してしまい、フォークリフトの右後輪と地面の間にはさまれ転倒し負傷した。	60	40301	7	30 ~ 49
2017	3	16~17	工場内にてフォークリフトの作業中、フォークリフトの爪を上げたまま停止してしまい、他の荷物を確認した後に走って戻ろうとしたところ、フォークリフトの爪に顔面を強打して転倒し、鼻の上を負	57	80109	3	10 ~

			傷した。					29
2017	3	11~12	会社構内でトラックから落ちた金属片を清掃中、トラックに資材積載中のフォークリフトが回転バックしてきて、後部車輪に左足甲の部分を接触し、轢かれて負傷した。	49	80109	7		10 ~ 29
2017	3	11~12	被災者は、作業エリアに移動する際に後追してきた作業中のリーチ式フォークリフトを避けようと、作業が終わるまで待っていた。作業中のフォークリフトが被災者に気づき作業を止め車両を停止させたが、被災者は作業の邪魔になると思い、後方を確認せずに一歩後ろへ下がってしまった。そのとき後方で作業していた別のリーチ式フォークリフトの車輪に左足甲を踏まれた。	55	80401	7		100 ~ 299
2017	3	5~6	積荷降ろしの作業中に2段積みで仮置きされた出荷パレットの下段のパレットを検品するために、フォークリフト作業員に上段パレットを下ろす作業をしてもらった。その際、上段パレットをフォークリフト作業員が持ち上げ後退してきたことに気づかず、後方にフォークリフトが旋回した際にパレットが腰部に接触し負傷した。	51	40301	3		1~ 9
2017	3	14~15	リーチ式フォークリフトにて空パレットを工場内に運ぼうとし、通路をバックで走行中、運転を誤り置いてあった空コンテナに接触しそうになり、とっさに身を翻したときにフォークリフトとコンテナの間に左手が挟まれ小指を骨折し、無理に引き抜いたことで裂傷ができた。	34	10808	7		—
2017	3	14~15	リーチ式フォークリフトにて空パレットを工場内に運ぼうとし、通路をバックで走行中、運転を誤り置いてあった空コンテナに接触しそうになり、とっさに身を翻したときにフォークリフトとコンテナの間に左手が挟まれ小指を骨折し、無理に引き抜いたことで裂傷ができた。	34	170101	7		100 ~ 299
2017	3	13~14	入荷した商品を空オリコンに部門別に仕分けをし、パレットに積みつける作業を行っていた。パレットの上に乗る、次の空オリコンを	43	50101	7		50 ~

			取ろうと思いきを取られた結果、下に置いてあるパレットを見落とし、フォークの爪を差しこむ穴に左足がはまった状態で倒れた。					99
2017	3	21~22	当社工場内において、4tトラックから2tトラックへの積荷移動の作業中、フォークリフトで運ばれたパレットの上に積まれたダンボールシートに積み込もうとパレットに左足をかけようとしたら、パレットよりもダンボール数紙の方が大きかったため、ダンボール数紙の端っこの部分にもパレットがあるものと勘違いして左足を伸ばしたところ落下し、左足を強打した。	66	10602	4		10 ~ 29
2017	3	11~12	物流倉庫内にてフォークリフトのLPボンベの取り外し作業中、LPボンベの安全弁を閉めたのち、フォークリフト側との切り離し作業を行った。その際、LPボンベとフォークリフトの接合部から液体ガスが濡れたので再接合を行ったとき、約1分間手袋の上から液体ガスを手に浴びて、凍傷を引き起こした。	46	40301	11		10 ~ 29
2017	3	9~10	保管棚エリアにおいてフォークリフトに乗って棚入れ作業時に、急施回・急加速してしまい、後ろの棚とフォークリフトに挟まれ下腹部を強打し、坐骨を骨折した。	47	50101	7		500 ~ 999
2017	3	12~13	事業所構内の原料倉庫近くに待機させていたフォークリフト（リーチフォーク）の充電器が本体から外れ、横座状態になっているのを発見し、バッテリー液が漏れている状態だったため、急遽近くを通りかかった作業員3名で持ち上げて、原状の位置に戻すための修復作業をしようとしていたところ、充電器の重量がかなりあったため持ち上がらず、充電器と車体本体の間に指を詰めて負傷した。	58	11409	7		50 ~ 99
2017	3	10~11	トラックから降ろした荷物をパレットに積んでいる際、ツメがパレットにささったままの状態、フォークリフトがハンドルを切りながらバックした。指がパレットに触れていたため、パレットとフォークリフトのツメに右人指し指が巻き込まれ脱臼した。その後、パレットの上の棚ラックを運ぶ作業中、パレットの棚ラックが倒れ左肩を強打した。	23	40301	7		1~ 9

2017	3	9~10	敷地内において、トラックの荷台からパレットの荷物をリフトで卸す作業中、パレットとリフトを?いでいるくさりを取りはずす作業をしている時、リフトの運転手が、見て確認していたにもかかわらず、リフトを前進させたため右足を踏まれ負傷した。	52	40301	7	10 ~ 29
2017	3	9~10	自社倉庫内において、ピッキングリフトに乗って高所（2m）の棚にある製品の棚卸作業をしていたところ、バランスを崩して製品とともに地上に転落した。	46	11709	1	100 ~ 299
2017	3	16~17	アルミホイール修正品置場を整とんしている時、段積しているホイールを移動中、スペースが狭いため高く積み上げてあった。移動中に上部ホイールが落下してきて頭部に当たった。	44	11209	4	30 ~ 49
2017	3	20~21	積荷にラップを巻いていた時に、通過するリフトの死角に入ってしまい、リフトの右前輪が左足に乗り上げ被災した。	33	40301	6	1~ 9
2017	3	10~11	トラックから降ろした荷物をパレットに積んでいる際、ツメがパレットに刺さったままの状態でもフォークリフトがハンドルを切りながらバックした。指がパレットに触れていたためパレットとフォークリフトのツメに右人指が巻き込まれ脱臼した。その後、パレットの上の棚ラックを運ぶ作業中、パレットの棚ラックが倒れ左肩を強打した。	23	170101	7	30 ~ 49
2017	3	9~10	リーチリフトで商品の乗ったパレットを倉庫内に荷降ろした後、次のパレットを取りに倉庫内から出たとき、リフト操作を誤り、パニックになり傾斜のため速度も出て止まれなくなり、リーチリフトでトラックのアオりに衝突してしまった。	44	40309	3	50 ~ 99
2017	3	12~13	重量ラック3段目の商品の在庫調査中、奥に積まれている商品把握で安全ベルトを一時的に外して作業した。数量をカウントし戻る際、右足をパレットについて左足を出した時、踏み外してしまい、そのまま左足からくずれの様に下に落下した。	57	80401	1	100 ~ 299
			1F倉庫内作業場で、カーゴ台車を左手で持って後手に引きながら移動していたとき、前進走行してきたフォークリフトの左前輪と本人				30

2017	3	20~21	が踏み出した右足小指側が接触した。本人は安全靴を着用していたが、安全カバーのない部分に接触した。	49	40301	6	~ 49
2017	3	19~20	倉庫内にて台車運搬作業中に、本来禁止されている前進走行で走行していたフォークリフトと接触し、左足を車輪に巻き込まれた。フォークリフトがパレット又は商品の陰に隠れ、被災者がフォークリフトの存在に気付かず、前進走行のフォークリフトもブザーを鳴らさず、走行速度も速かったため、回避することができなかった。	22	50101	7	~ 29
2017	3	14~15	出荷室庇の雨樋の排水が悪い為、フォークリフトにパレットを乗せ、雨樋の掃除中、フォークリフトを移動させるため、2名を乗せたままフォークリフトを移動させるため2名を乗せたままフォークリフトを下げて移動させたとき、地面の段差で揺れ、パレット上で足を踏み外し高さ約2mから落下した。	73	40301	1	~ 29
2017	3	9~10	倉庫内にて入荷商品を格納場所までフォークリフト（リーチタイプ）にてバック走行で移動中、後方確認を怠った為、進行方向に設定されているネステナー（ポータブルラック）に衝突し、腰をネステナーに強打し、右骨盤を骨折した。	54	40301	3	100 ~ 299
2017	3	14~15	倉庫内でピッキング済みの折りたたみコンテナをドローリーからパレットに積み替えている最中、走行してきたフォークリフトに接触し被災した。	41	50101	3	100 ~ 299
2017	3	16~17	乗務中、商品配置をリフトマンに指示をしているとき、リフトマン操作中のフォークリフトが右足上を走行し負傷した。	48	50101	7	10 ~ 29
2017	3	21~22	フォークリフト通路脇のクレート保管場所で、作業後の片付けとして積み重なったクレートからラベルを剥がす作業を行っていた。パレットから積み重なったクレートを降ろそうと傾けた際に、それを支えようとして右足がフォークリフト通路へはみ出し、通りがかったフォークリフトの車輪と接触し被災した。	20	50101	7	50 ~ 99

2017	3	21~22	冷蔵倉庫の出荷バースにて、座って右足を伸ばした状態でシール貼り作業を行っている際、走行中のフォークリフトに右足を接触した。	20	170101	7	50 ~ 99
2017	3	7~8	構内にて重さ390kgの木枠の商品をフォークリフトで運んでいた際、サイドブレーキを確実に引いておらず、また商品を地面に着地させないままフォークリフトから離れてしまい、フォークリフトが自走し、追いかけて停止させようとフォークリフトの前方に行ってしまう、商品の木枠が左足に接触し負傷した。	59	40301	3	30 ~ 49
2017	3	20~21	カウンターリフトのバッテリー乗り換え作業をする為、リーチリフトの爪を挟めていた最中、爪上部の固定ピンが外れず、無理に次の工程へ進めたところ、ピンが落下した為、反射的に手を差し出した際に小指を挟んだ。	48	40309	7	300 ~ 499
2017	3	17~18	Aが荷降ろし中、フォークリフトで荷物パレットを荷台より降ろし後退したが、手伝いであおりを上げようとした時に右半身とAのフォークリフト後部が接触して、被災者が転倒し、右足首と右手を負傷した。被災者は荷卸し待機中で、Aの次に荷降ろしする予定だった。	46	40301	6	100 ~ 299
2017	3	14~15	別紙のとおり	65	80109	1	10 ~ 29
2017	3	10~11	リフトから降りた時、着地した所が斜めだったため、足首を捻って負傷した。	62	80109	3	1~ 9
2017	3	14~15	工場にてフォークリフトグリストラップ作業中、フォーク取り外しの際、支えていたフォークと身体のバランスを崩し、フォークが落下して持ち手である右人差し指を損傷した。	41	11209	4	1~ 9
2017	3	16~17	工場内で、フォークリフトの爪に集荷缶を乗せて、缶と建物の洗浄を行っていた。集荷缶の洗浄を先に終えて建物の壁を洗っていたところ、リフトの爪から缶が滑り、建物の壁と缶の間に挟まり、胸か	48	150102	7	100 ~

			ら下を圧迫された状態となった。					299
2017	4	15～ 16	格納庫で、もみ播き作業をしている時、播種機の側にリフトで吊ったフレコン（育苗土入り）を置き、苗箱にその土を上から落とし入れ、播種作業をしていた際に、リフトで吊ったフレコンを少し吊り上げようとリフトのエンジンを掛けた時、誤ってリフトが少し前進した先に被災労働者がいて、播種機とリフトのマストの間に挟まって右足と左足甲を負傷する。	64	60101	7		1～ 9
2017	4	9～ 10	構内で車両の転回スペースの掃き掃除をしていたところ、後方に人がいることに気づかずに後退してきたフォークリフトの右後方部分が左腰部分に接触して転倒し、右後輪で左足を踏まれた。その際に靴が脱げてしまった左足を、前進したフォークリフトの右後輪で再度踏まれ、左足甲裂傷と左中足骨骨折を負った。	68	150102	6		100 ～ 299
2017	4	10～ 11	負傷者が伝票を見て構内を歩いていたところ、バックしてきたフォークリフトにひかれた。リフト運転手は空になったパレットを床からトラックへ積み、その後バックする際に左後方は確認したが右は確認不足であり、負傷者がリフト右から後方に向かって歩行中に、バックしてきたリフトにひかれた。	63	40301	6		30 ～ 49
2017	4	20～ 21	お客様ホーム上で、フォークリフトを使用して、パレット貨物を整理していた時に、他のパレット貨物が到着したので、急いでリフトを元の位置に移動しようとした。その際に、リフトのフットペダル操作ミスにより体が投げ出され、惰性で動いていたリフトと壁の間に左大腿部が挟まれた。	37	40301	7		30 ～ 49
2017	4	11～ 12	当社敷地内、本社工場押し出し部門の南通路側シャッター前において、床に落ちた樹脂くずを箒で掃く清掃作業中、積荷作業のためバック移動をしていたフォークリフトと左足首が接触した。	40	10805	6		50 ～ 99
2017	4	13～	バッテリー式のパレットフォーク充電場所にて、作業終了後に本機を充電するため、パレットフォークから本人が降車した状態でバツ	37	80401	6		100 ～

		14	クにて本機を移動したとき、ハンドル操作を誤り、右足に本機が接触した。					299
2017	4	15～ 16	金型・台車置場で、被災者Aは、生産終了後の金型をフォークリフトで運搬していた。所定置場に金型を置く為、フォークリフトから降り置場前にあるパイロンを移動しようと歩行していた時、台車整理を行っていた作業員Bが、折り畳んだキャスター付きの4段積みの台車が被災者Aの作業の妨げになると思い、台車を移動させようとしたが、誤ってフォークリフトの爪で台車を押ししまい、キャスターで台車が転がり、歩行していた被災者Aの右足大脛部が台車と金型に挟まれてしまった。	48	11509	7		100 ～ 299
2017	4	9～ 10	平場商品を棚の2段目（高さ約180cm）にピッカーフォークで格納した後、パレットがあるつもりで足を踏み外して体勢を崩し、床に落下した。	52	40301	1		100 ～ 299
2017	4	18～ 19	当社工場内において、4tユニック車に積んだ単管パイプ（4m：40本）、金属製足場板20枚及び給湯器を降ろす作業を始めた。被災者がフォークリフトで足場板を吊り上げたとき、フォークリフトの爪が単管にふれて単管が斜めにずり落ちそうなり、被災者は単管に手を伸ばし止めようとして、単管と単管の隙間に左手を挟んだ。	64	150102	7		30 ～ 49
2017	4	7～8	ベルトコンベア上の製品の移動作業中、安全確認を怠り、急に通路側に振り向くように飛び出し、通行中のフォークリフトに衝突した。	41	10805	6		50 ～ 99
2017	4	7～8	ベルトコンベアーの物を移す作業をしていたところ、振り返った時にフォークリフトの先端と右頬骨が激しく衝突した。あまりの衝撃で、一瞬気を失いそうになるほどの痛みを感じた。痛みは残ったが、少し休憩を取り作業に戻った。しかし徐々に痛みが増していき、右頬が腫れ上がってきた。	41	170101	6		10 ～ 29
			事業所にて機械を移動するため、当社従業員の運転するフォークリフトの側で積荷の機械を手で支えていたところ、前方に停車してい					10

2017	4	15～ 16	た車両がバックしようとしたためフォークリフトが一旦停止したが、すぐに車両がいなくなったため再発進した際に左足を轢かれた。	22	80409	6	～ 29
2017	4	11～ 12	被災者は荷主先構内にて荷卸し作業をしていた。荷主先のリフトマンが荷物の載ったパレットを移動させ、リフトを旋回させた際に後方に準備してあったパレットに接触し、その勢いで押し出されたパレットが被災者の左足に飛来し受傷した。	40	40301	6	10 ～ 29
2017	4	19～ 20	現認者と明朝の現場（外壁及びブロック塀改修工事）の足場資材をフォークリフトで積み込みをしていたところ、乗っていたフォークリフトのフォーク部分からバランスを崩し転倒し、フォークリフトの車輪に踏まれ負傷した。	29	30209	7	10 ～ 29
2017	4	16～ 17	原板の近くで掃除をしていた時、リフトで原板を移動する為に持ち上げたとき、原板の下の方が崩れて被災者に当たり、体勢を崩し動けなくなった。	46	10401	5	10 ～ 29
2017	4	16～ 17	会社内にて荷物の移動をウォーカータイプのコーターリフトで行っている際、コーターリフトで後ろに下がっている際、自分は止まったが、コーターリフトが止まらず右足にコーターリフトが乗り上げ、右足甲が圧迫された。	35	10899	7	50 ～ 99
2017	4	8～9	当社作業場において、カプセルフォークリフトの点検作業中、リフトから降りようと扉を開け、降りた後、右手で扉を閉めた時に不注意で左手を扉が閉まってくる箇所に置き立っていた為、左手が扉に挟まり負傷した。	45	80109	7	1～ 9
2017	4	9～ 10	ヤード内で作業をしていた時、停まっているリフトにつかまった所レバーを触ってしまい、リフトが無人のままバックして来て、避けようとしたのだが、ヤード内のバン詰め台とリフトに挟まれて肋骨骨折・左腕を切った。	40	80409	6	1～ 9
			弊社内、倉庫ヤードにて、出荷製品仮置中に突然強風を伴う降雨が				

2017	4	14～ 15	発生、製品漏損を防ぐために緊急的にブルーシートを被せる作業を実施した。パレット3段積製品上部へ被せるにあたり、作業員をフォークリフト（爪部分）で上部まで持ち上げ、作業していたところ、雨で足を滑らせ、約3メートルの高さから地面へ落下した。	44	50101	1	1～ 9
2017	4	15～ 16	1階荷捌き場にて、フォークリフトでバック走行しながら、空のサポート付パレットを置こうとした際、被災者の後ろ側を通り、右斜め後方でいったん停止し、右に旋回しながら前進しようとした際、旋回をするだけの十分な距離を取らず接触しそうになったので慌ててブレーキを踏もうとしたら、誤ってアクセルを踏み、パレットが被災者の両ふくらはぎに当たった。	42	80401	6	1～ 9
2017	4	10～ 11	製作所内で2tトラックに細長い鋼材を束ねた物（長さ約2m巾50cm高50cm）をリフトで荷積み作業中、フォークリフトの爪先が角材を取ろうとした時に角材を押し込んだため、左手親指が角材と荷物を載せたパレットに挟まれた。	51	40301	7	10 ～ 29
2017	4	16～ 17	常温倉庫でフォークリフトを運転し、バックしている時に勢いがつきすぎてブレーキを掛けたが、制動距離が長く、とっさに止めようと左足を出したためゲートポールとフォークリフトの間に足を挟んだ。	43	80109	7	100 ～ 299
2017	4	14～ 15	フォークリフトを使用し仮設足場材の運搬作業を行っていた際、荷下ろし場には床から3.1mの高さに鉄骨梁材があり、鉄骨梁とフォークリフトのマスト部分が接触したためフォークリフトが転倒し、投げ出された被災者が下敷きになった。被災者はフォークリフトの荷揚げ部分（ツメ）を上昇させたままバックしたと思われる。（上昇したマストの天端高さは3.3mであった。）	37	30201	2	10 ～ 29
2017	4	10～ 11	冷蔵倉庫内にて貨物を出庫作業中、貨物の確認のためフォークリフトを停車しフォークリフトのマストに足をのせたとき、バランスを崩して落下した。	30	40303	1	10 ～ 29
			弊社工場で機械を梱包するためリフトで機械を持ち上げてラップを				100

2017	4	19~ 20	巻きつける作業をしている時に、少し移動しようとしたところ、リフトの前輪で左足を踏まれた。	41	11301	7	~ 299
2017	4	16~ 17	お客様のご会社構内において、フェンス等建築資材の積み下ろし作業のためフォークリフト運転中、幅約2mのスロープを下っていた時に右側タイヤが誤って脱輪し横転した際、フォークリフトのヘッドレストカバーに左足が挟まれ、左足下肢を負傷した。	49	40301	2	10 ~ 29
2017	4	8~9	ピッキングフォークでネステナー2階にある棚に入荷してきた商品の格納作業中、フォークに差していたパレットに足を乗せたところ、パレットが割れ破損した。約2メートルから落下し、仰向けの状態で背中から床に落ち後頭部を強打した。ヘルメットは着用していたが、顎紐をしていなかったため落下中に外れてしまった。また、安全帯も使用していなかった。	39	50101	1	50 ~ 99
2017	4	18~ 19	仕分けホーム上で歩行中、後退しながら接近している荷役作業中のフォークリフトに気付かず、フォークリフトの右方後部タイヤと被災労働者の左足が接触した。	66	40301	6	50 ~ 99
2017	4	13~ 14	工場内にてフォークリフトでパレット片付け中、フォークリフトの左側に立ち誘導中、フォークリフトを右に切り替えした際、左側後輪のタイヤと右足首が接触し負傷した。	33	11501	6	1~ 9
2017	4	11~ 12	自社ヤードで、フォークリフトを用い廃材を移動する作業をしている時に、バックをする際に後方確認が不十分だった為、後ろにいた被災者に接触し、足に怪我を負わせた。	17	30199	7	10 ~ 29
2017	5	11~ 12	隅入段ボールの搬送のため、倉庫荷受場から仕分場へリフトを運行していたところ、無意識の内にブレーキペダルから足が外れ、急ブレーキが掛かった状態になり、リフトから身体が弾き出されて落下し、右足の裏側を強打し、右大腿・下腿を打撲した。	68	50101	1	100 ~ 299
			工場で鯨の腹出作業を行っていた際、後部にて方向転換のため旋回したフォークリフトに積まれていた空のコンテナが倒れ、頭から背				100

2017	5	9～ 10	中付近に落下し、前のめりに倒れた。空のコンテナを乗せていたパレットが通常使用していない横板の少ないトーツ用のもので、かつ横板の一部が破損していた事に気が付かずに荷役作業を行ったため、パレットのバランスが崩れ倒れた。	65	10102	4	～ 299
2017	5	15～ 16	倉庫内で、フォークリフト2台でパレット積み冷凍助子の整形作業中、停車中のフォークリフトの右側部に別のフォークリフトの前部が接触し、停車中のリフトの運転席の側部に座っていた被災者が右足甲部分を挟まれて陥没骨折した。リフトが停車しているのを動き出すと思い込み、前進したために事故が起きた。	20	80401	7	10 ～ 29
2017	5	16～ 17	弊社第3センター内にて、フォークリフト（プラッター）を運転していた作業員が、パレットにフォークリフトの爪を差し込む際に斜めに差し込んでしまったため、パレットが押し出される形となり、近くで仕分け作業をしていた被災者の足にぶつかった。	29	40301	6	100 ～ 299
2017	5	14～ 15	倉庫内にて製品の出荷作業中、リーチリフトの方向を変えようと旋回させた際、ステップから出ていた右足が後方にあった固定棚と接触し打撲を負った。	20	80401	3	100 ～ 299
2017	5	17～ 18	倉庫内でフォークリフトを使用中、右足を運転席の外側に出したままバックをし、停車していた別のフォークリフトの門に右足の甲を挟んでしまった。	33	80109	3	30 ～ 49
2017	5	11～ 12	構内において、フォークリフトを使用してパレットの移動作業中、フォークリフトに乗り込もうとヘッドガードの手すりを左手で掴み、左足をステップに掛けた際に、ステップが雨で濡れており、うっかり左足を滑らせてしまい、その拍子に体のバランスを崩して倒れそうになったので、咄嗟に両手をフォークリフトのステップについて転倒するのを防いだが、両手をついた時の衝撃で右手と首を負傷した。	53	50101	1	10 ～ 29
2017	5	10～	客先で、フォークリフトの荷降ろし作業の手伝いをしていた時に本来爪カバーを降ろす場所に不注意で足を置いてしまい爪カバーが落	47	80109	7	10 ～

		11	下し怪我をした。						29
2017	5	10～ 11	当日、積み込み作業をしていた。作業完了後、荷締めの為ラッシングベルトの先端を荷台後部のフックに引っ掛け、ラッシングを伸ばそうと後退していた。側面から後進してきたフォークリフトに接触し転倒した。その際、フォークリフト右後輪が右足に乗り上げ受傷した（安全靴着用）。	54	40301	6			10 ～ 29
2017	5	8～9	敷地内において4tトラックからフォークで荷降ろし作業をしていた際、フォークをトラック後方につけ、ツメが上ったままになっていた。それを忘れてしまいジョルダーで荷物を引っ張ったところ、そのフォークの爪に尾てい骨を強打し骨折してしまった。	45	40301	3			30 ～ 49
2017	5	18～ 19	事業所内において、メイン通路よりメガフォーク（小型リフト）が前進走行で左折しようとしていた際、柱の陰より出合頭にメガフォークに当たり転倒し、右足を巻き込まれた。	63	170101	7			1～ 9
2017	5	18～ 19	倉庫内にて商品管理作業中、同じく運転作業中のフォークリフトと接触し、車両に巻き込まれた際に右足踝骨折、右足かかと開放創を負う。	63	50101	7			100 ～ 299
2017	5	16～ 17	製品グループ内通路を歩いていたところ、出荷品置場からリーチフォークが後進しながら通路に出て来て、急発進の上、後ろをよく確認しないで出てきたため、右肩に接触し同時に右足首が車体と床の間に挟まれ捻挫した。また、体勢を崩した際、左手をパレットにぶつけ小指が突き指となった。	26	10902	7			50 ～ 99
2017	5	12～ 13	荷物をパレットへ積み替え作業をしていた時にフォークリフトに足を挟まれた。	62	80401	7			50 ～ 99
			資材置き場の倉庫にて、既設資材の取り出しをしている際、長さの異なる栈木（さんぎ）が積み上げられている中から一番上に積まれている栈木をフォークリフトで取ろうとしたがフォークリフトのツ						

2017	5	14~ 15	メが届かなかったため、栈木の山に登って（地面から1.5m程度）手作業でフォークリフトのツメに栈木を載せようとしたところ、栈木の山が崩れそうになったので慌てて栈木を押えた。その際にバランスを崩してしまい、左脇から地面に落下した。事故の原因は、本来であれば栈木をフォークリフトで組み替えて取り出せばよいところ、作業を省略しようと栈木の山に登ってしまったことにある。	45	10402	1	1~ 9
2017	5	14~ 15	事業所内の倉庫のシャッターが閉まらなくなったため、臨時にシートで養生しようとした際、被災者はフォークリフトのフォーク部分にパレットを差し、その上に乗ってシートの上部を固縛する作業を行っていたが何らかの拍子でヘッドガードとリフト稼働部の間に入り込み左肩付近を挟まれた。	74	150101	7	10 ~ 29
2017	5	11~ 12	コンテナ置き場にて、コンテナの修繕作業中、別の会社の従業員がコンテナ吊り上げ中のフォークリフト（トップリフター）を後進させていたところ、ツイストロックの留具が本来90°で嵌るべきところが、45°程度だったため、移動の弾みで右の留具が外れた。コンテナ（3840kg）の右部分が接地し、程なく左側の留具が外れ、元来の吊り上げ位置から2mずれた地点に落下した。下にいた被災者がコンテナの下敷きになり死亡した。	45	50202	4	10 ~ 29
2017	5	16~ 17	構内（工場前）にて、終業後に更衣室に向かって歩行中に、後方から来たフォークリフトにお互い気付かず、歩行者の後ろからぶつかった。フォークリフトの左後輪と歩行者の左足が接触して歩行者が倒れ込み、フォークリフトはすぐに前進して停止し、周囲にいた従業員とフォークリフト操縦者が救助した。	50	10109	6	100 ~ 299
2017	5	14~ 15	大きな公園で、ベニヤテーブルが数台乗っているカゴ台車を別のスタッフが運搬していたため、被災者が手伝おうと向かった際に、前方に停車していたフォークリフトのフォーク部分に気が付かず右足を引っ掛けて前方へ転倒してしまい左手と右足を強打し、左手の首から肘に掛けて筋肉の筋を痛めた。その時、フォークリフトの	30	170209	2	300 ~ 499

			フォークが脛の高さまで上った状態になっていた。				
2017	5	11～ 12	岸壁で鰹船の生け簀を積み込む時の作業中、フォークリフトで網を下している時に船上にいた為、岸壁からフォークリフトが落ちてきた。原因はフォークリフト運転者の運転ミスである。	71	70201	6	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	岸壁で鰹船の生け簀を積み込む時の作業中、フォークリフトの近くで作業していたら、後進してきたフォークリフトにぶつかり、船上に落ちた。その後、フォークリフトが岸壁から落ちてきた。原因はフォークリフト運転者の運転ミスである。	74	70201	6	10 ～ 29
2017	5	11～ 12	岸壁で鰹船の生け簀を積み込む時の作業中、フォークリフトを運転して網を下ろしている時に前進にクラッチを入れたつもりが後進に入ったままでアクセルを踏んでしまった。そのままフォークリフトとともに船に落ちてしまった。原因はフォークリフト運転ミスである。	32	70201	1	10 ～ 29
2017	5	7～8	荷積み先にて作業中、フォークリフトでパレットをトラック荷台に積んでもらっている際に積荷（ロール状に巻かれたもので、重量は約60kg）が崩れて落ちそうになったため咄嗟に手を出して押さえたところ、積荷とフォークリフトのバックレスト部分に手を挟み、右手中指、環指、小指の第一指骨付近を骨折した。	38	40301	7	30 ～ 49
2017	5	10～ 11	フォークリフト運転者がフォークリフトで吊り治具を移動している最中、吊り治具をおろす為に下に引く木を準備していたところに、吊り治具がフォークリフトの爪から滑り落ちてきて、前頭部を強打ち、頭部と首を損傷した。	56	11204	4	30 ～ 49
2017	5	10～ 11	フォークリフト運転者がフォークリフトで吊り治具を移動している最中、吊り治具をおろす為に下に引く木を準備していたところに、吊り治具がフォークリフトの爪から滑り落ちてきて、前頭部を強打ち、頭部と首を損傷した。	56	170101	4	30 ～ 49
		10～	当社工場内で、運転者がリフトで吊り治具を受け取って外す為にリフトを動かしている最中、場所を空けようと前チャージの吊り治具				10

2017	5	11	で外した品物の重量を量ろうとしていた時に、後から吊り治具が背中に誤って滑り落ちてきてしまい、倒れて負傷した。	46	11204	4	～ 29
2017	5	10～ 11	被災者は、輸送先において貨物を搬入する作業中に、フォークリフトの爪の高さを50cmにして爪の幅を調節しようとしていた際、片方の爪の中央まで寄せた時に引っ掛かりが起きたので、爪全体を少し押し上げ気味にして動かそうとしたところはずみで爪が抜けてしまい（80kg程）、右足の甲の上に落下させ負傷した（安全靴着用）。	42	40301	4	50 ～ 99
2017	5	8～9	工場内修理のためフォークリフトの先に吊り金具をつけて、H鋼材（長さ4.5m、重量100kg位）を持ち上げて工場内に移動中、開口が狭く入れられないため、被災者がH鋼材を押して方向転換しようとした時、吊り金具が完全にはまっていなかった為か、H鋼材が被災者の右足の上に落ち指4本を骨折した。	43	10909	4	1～ 9
2017	5	15～ 16	駅構内で貨物を降ろす為、トラックのウイングを開けて、トラック付近に置かれたコンテナ横で作業が始まるのを待っていたところ、荷物を積んで前進して来たフォークリフトが接触して転倒し、両足等を負傷した。	48	40301	6	30 ～ 49
2017	5	11～ 12	フォークリフトで雑芥をリサイクルセンター可燃物集積場へ運搬するため、リサイクルセンター西側より入場し、可燃物集積場北側の防護支柱に雑芥の入った集積箱の右前方を衝突させた為、その反動にてリフト座席（1.3m）より転落し負傷した。	56	40301	1	100 ～ 299
2017	5	15～ 16	俵二段積みにて、巻紙を積み込み中に、巻紙の積みが甘く、落下するのを直そうと手を置いたところ、相手方の操縦するクランプリフトも同様に位置を直そうとしたためクランプリフトで指を挟まれてしまった。	60	40301	7	50 ～ 99
2017	5	18～	コンテナターミナルにおいて、コンテナ専用大型機器（以下、トップリフター）を使用してリフト作業中、トップリフターより降車する際に運転席左側階段を使用し途中の足場まで降りた。足場から地	37	50202	1	50 ～

		19	面まで降りる為、乗降ステップに足（右足）を下ろそうとしたところ、左足が滑り高さ1m40cm程の位置から落下した。雨天後であったため足場が濡れていた。					99
2017	5	2～3	紙製品製本課内にて、刷本の運搬を終えフォークリフトの充電を行う為に所定箇所に停車させリーチから降りる際、誤って左足がリーチ充電場所の壁際に設置された輪留めとリーチ運転台の下に出来た空間に挟まった。その際に左足に体重がかかり負傷した。	39	10702	19	～	100 299
2017	5	16～ 17	荷主先構内でリフト作業をしている後方を歩いて移動していたところ、リフトが荷物を積み込む為にバックで動き始め、ぶつかってしまい負傷した。	54	40301	6	～	10 29
2017	5	11～ 12	工場構内において、被災者がパレット5段踏みを台にして（高さ1m位）作業中、高さが合わず4段積みにする為、フォークリフトを使い同僚が運転し、パレットを持ち上げバックする際、誤ってレバーを前進にしてしまい、パレット前で待機中の被災者がラック（棚）とパレットの間に挟まれた。	49	11709	7		1～ 9
2017	5	16～ 17	工場内においてパレットを搬入する時、フォークリフトの爪を動かしていたときに爪が外れ、右足に落下した。	73	10401	4		1～ 9
2017	5	14～ 15	ドライセンター構内にて、フォークリフトで荷降ろしを行い、作業終了後、他の荷待ち車輛がいたため、慌ててフォークリフトから降りようとした際に、右足首をひねってしまった。我慢できる痛さだったので誰にも報告せずに帰ったが、その後、ひどく腫れてきた。	47	40301	19	～	30 49
2017	5	15～ 16	商品の検品作業をしている時に背後からフォークリフトがバックで近付いてきた。両者とも気が付かず、お尻に接触し踏ん張ったところ両足が地面とフォークリフトの間に挟まれ足首が反り返り、両足の甲を骨折した。	43	40301	6	～	100 299
			リーチフォークリフトを構内作業中に、構内のラックから電線ドラムを荷卸しし、乗車していたリーチフォークリフトを停車させるた					30

2017	5	17～ 18	め移動し、壁近くにて停車させる際に、リフトが完全に停止する前に左足をリフトから出してしまい、壁とリフトの間に左足首を挟まれた。	39	11109	7	～ 49
2017	5	15～ 16	納品先構内にて、引取依頼のドラム缶を上下2段積でフォークリフトで搬送中、ドラムがぐらついたので慌ててそのままフォークリフトを降り、前方に回り落下をおさえようとしたが、完全に停止しておらず前輪が左足に乗り上げた。当初は大丈夫だと思い様子をみていたが、後日に骨折が判明した。	62	10801	6	30 ～ 49
2017	5	11～ 12	倉庫内で、ピッカーリフトを使用して商品荷出中に、高さ約3mから足を踏み外し転落し、頭を強く打った。	59	50101	1	1～ 9
2017	5	8～9	市場内の冷蔵庫へ商品を取りに行き、用事を思い出し戻ろうと振り返った時に、弊社の従業員が脇見運転してバックしていたリフトに轢かれた。	46	80109	7	10 ～ 29
2017	5	10～ 11	熱処理工場建屋南のテントハウス前で、ステム巻き亜鉛メッキ線を吊ったバッテリー式リーチ（2.1t）をバック運転した時、停車していたフォークリフトのフォーク（一本角）先端に左足膝裏下が突き当たり負傷した。	66	11009	6	100 ～ 299
2017	5	2～3	工場横の通路で、リフトの運転を交替する際、先に降りてリフトが移動するのを待っていた時に、次の運転者が先に降りた本人との距離を見誤り、安全靴着用済みの左足甲をリフトで乗り越えられてしまった。	36	10805	7	100 ～ 299
2017	5	8～9	積込作業中、ダブルのリフトで商品を載せたパレットとパレットの間に、緩衝材を入れる際、入れたと同時にパレットとパレットを閉めた為、左手小指の先が挟まり負傷した。	46	40301	7	30 ～ 49
2017	5	16～ 17	車外で点検を終えたピッカーフォークリフトをスロープから倉庫内に入れようとしたが、バッテリー不足で自走では上れなかったため、1人が運転し4人が補助し押し上げていた。スロープを上りき	31	40301	7	100 ～

			り左折で倉庫内に入る際、運転手が操作を誤ったため、内側にいた補助者の指が入口の壁とフォークリフト車体に挟まれ負傷した。					299
2017	5	16～ 17	荷役作業中のフォークリフト運転手にホームへのトラック接車の許可を受けるため近付き、会話した後、急にフォークリフトが動き出し、左足甲がフォークリフト後輪と接触した。	33	40301	6		30 ～ 49
2017	5	13～ 14	埠頭内にて資材の片付け作業中、鋼製山留材の下に角材を3箇所敷いていたが、山留材をフォークリフトで持ち上げた際に真中1箇所の角材が山留材に食い込んでいた為、地面に降ろして剥ぎ取ろうとマストを急降下させたところ、角材片付け中の作業員の右手人差し指が角材と鋼製山留材の間に挟まれた。被災者がいた場所はフォークリフトの死角になっていた上、目視・声掛け確認を怠った為に事故が発生した。	61	50202	7		30 ～ 49
2017	6	11～ 12	当社工場内トラックスケール横にて、歩行者（ケガ人）とフォークリフトで運搬中の雑誌を入れた鉄かごが接触した。リフト部分を1m程上げていた為、鉄かごの下敷きになるような事故になった。運転手が工場よりリフトにかごを載せ、バックでトラックスケールに乗って計量し、左前方に進んだところ、工場内で作業が終わって歩いて来た歩行者に気付かず接触した。	62	150103	6		1～ 9
2017	6	10～ 11	3階エレベーター付近で、フォークリフトに乗車し、冷凍倉庫から荷物の出庫作業をしている際、冷凍倉庫出口からエレベーターまで（3m程）フォークリフトでバックで移動中、フォークリフトが止まらなくなり（アクセルの操作ミスか、タイヤに箱がつき滑った）、エレベーターの壁が近づいていたため、フォークリフトから降りようとしたが間に合わず、フォークリフトの後部と、エレベーターの壁に体を縦に（右腰リフト側、左腰エレベーター側）挟まれ、右大腿筋挫傷と恥骨骨折をした。	49	80401	6		1～ 9
2017	6	13～	リーチ式フォークリフトにて作業中、バック走行の際、柱に接触しそうになり、左足をペダルより離し、柱側にのぼした際、柱と	18	80401	7		100 ～

		14	フォークリフトに挟んだものである。					299
2017	6	11～ 12	工場敷地内でフォークリフトを使用して機械移動作業中、一旦作業を中断する為、フォークリフトのエンジンを切った。その際、フォークリフトのツメが下がり、機械のバランスが崩れてしまい、機械の前にいたため避けきれず、左足が下敷きになってしまった。	52	10104	6		50 ～ 99
2017	6	11～ 12	第一工場内で、フォークリフトのエンジンを切らずに降りたところ、フォークリフトが動きだした（ギアが前進に入っていた）ので、エンジンを切ろうとしてフォークリフトの側面とシャッターの柱の間に挟まれて負傷した。	66	10901	7		1～ 9
2017	6	6～7	本人が夜勤明け退勤の為、職場より事務所棟へ向かおうとした際、同職場で日勤担当の外国人実習生が、職場から置き屋根倉庫へフォークリフトで製品を運搬するタイミングで、禁止されている二人乗りをした。外国人実習生が運転するフォークリフトが置き屋根倉庫前で一旦停止し、本人が降車したところ、急発進したフォークリフトの後輪に右足が巻き込まれる形で轢かれた。	24	10402	7		50 ～ 99
2017	6	17～ 18	搬送先で積み荷の荷下ろし作業をしていた時に、倉庫内で作業をしていた別会社の社員が運転するフォークリフトがバックで接近し、被災者に気付かずに、左足の足首部分を左の後輪で轢いてしまったものである。	35	40301	6		30 ～ 49
2017	6	11～ 12	当社工場内で、製品を入れる鉄製の缶（60cm×60cm×60cm、重さ50kg）が、通路（幅2.5m）上に出っ張っていたので押し戻そうとして、右足を後方に出して屈んだ時、従業員が運転するフォークリフトが左方から移動してきた事に気付かず、又、フォークの運転手も直前に足が出された事に気が付かず、踵を轢いてしまった。さらに右足の親指が反っていたため、安全靴の中の鉄カバーが指に食い込み負傷した。	30	11209	7		10 ～ 29
		15～	4Fでフォークリフト荷役作業中、降車する時に足を捻ってしまい、					500

2017	6	16	バランスを崩し、咄嗟に左手を出して手の平で着地した。その際、左足首捻挫、右手首打撲をした。	47	80401	1	～ 999
2017	6	15～ 16	倉庫内より荷受け前室に出ようとフォークリフトを直進させていた際、右側にハンドルを切った際に車体が曲がらず、慌ててフットブレーキをかけてしまった為、そのまま滑って前方にあったガードポールと接触した。その時、咄嗟に足を出してしまった為、ガードポールとフォークリフトに足を挟まれた。	28	50101	7	10 ～ 29
2017	6	15～ 16	廃棄物回収先で、コンテナとフォークリフトのパレットを足場にして回収作業をしていたが、作業終了時にフォークリフトが移動した際、バランスを崩してしまい、当人が落下した。	37	150102	1	50 ～ 99
2017	6	11～ 12	当社作業場にて、荷物（電線の束）をリーチフォークリフトで移送中、荷物が揺れて落ちそうになったので、押さえるためにフォークリフトから降りた時に（高さ20cm）、右足アキレス腱を負傷したものである。	51	11209	19	1～ 9
2017	6	9～ 10	製品をフォークリフトで挟もうとした際、リフトマンと布を挟み込む者との意志の疎通がとれず、フォークリフトの油圧で製品を挟む部分に腕を挟んだ。	47	40301	7	10 ～ 29
2017	6	4～5	市場内で青果物を仕分けしている際、相手のフォークリフトが後進してきたところ、右足甲を踏まれて骨折をした。	70	40301	7	50 ～ 99
2017	6	9～ 10	予冷庫にリフトに乗ってコンテナレタスを搬入しようとした際、搬入スイッチを押すためリフトから降りた時、リフトのギアを入れたまま、又、サイドブレーキを引いてなかったため、リフトが動き出し、予冷庫の防護柵ポールとリフトの間（ポールが腹部、リフトが臀部側）に挟まってしまった。自力で立ち上がることが出来ないため、検査のため病院に入院した。	72	40301	7	10 ～ 29
		13～	当社倉庫の整理整頓中に、バックして来るリフトに気付かず、リフトの左後輪が右足先に乗り上げ、右足親指、人差し指先の骨にひび				100

2017	6	14	が入り、親指の人差し指側を4針縫合した。また、転倒の際に後頭部を負傷した。	50	10104	7	～ 299
2017	6	19～ 20	倉庫内において、立ち乗りフォークリフトを運転中、作業が終わったので充電しようとした際、別のフォークリフトが既に充電していたため、そのフォークリフトの横につけようとしたところ、左足を外に出しながら運転していたため、運転していたフォークリフトと充電中のフォークリフトに挟まれ、左脹脛を骨折した。	49	10602	7	10 ～ 29
2017	6	17～ 18	自動車部品の入出庫作業中、使用していたリーチリフトから降りた際（約20cm）、右足首に違和感を感じた。	45	50101	19	50 ～ 99
2017	6	8～9	災害報告書別添	66	30309	7	10 ～ 29
2017	6	8～9	会社工場内で北側通路を歩いて移動中、身体を捻って振り向いた際、同方向からバックで警笛音を鳴らしながら進行して来たフォークリフトに気付かず、開いた左足先を安全靴の上から踏まれた。咄嗟に左足を引き抜くことを考え、力任せにフォークリフトを突き倒すように押したはずみで、コンクリート床面に叩きつけられ、右足を負傷した。	72	11209	6	30 ～ 49
2017	6	11～ 12	B倉庫貨物用エレベーター内の荷物を取り出す為、倉庫内に停めてあったフォークリフトに乗り、エレベーター外側大扉に向かい、大きく旋回した時に、非常に大きな破裂音と共に左耳が急に聞こえにくくなった。近くにいたリーダーも耳に異常を感じており、すぐに本人から左耳が聞こえにくい事の報告を受けた。また、2階で作業をしていた責任者もすぐに駆け付けて状況を確認したところ、後輪タイヤが破裂していた。	45	10902	15	50 ～ 99
			工場の材料置き場で、他の作業員がフォークリフトで材料を移動す				

2017	6	15～ 16	る際、補助目的で方向を誘導している時に方向ばかりに気を取られ、フォークリフトの爪が上下しているのを見落とし、爪と地面の間に両足を挟まれてしまい、左足の親指を骨折してしまった。	18	11209	7	1～ 9
2017	6	14～ 15	積み込み作業中にフォークリフト運転中、ブレーキ操作を誤り急停車したために、惰性により運転していたフォークリフトから投げ出され、ホーム下の路上に腰辺りから着地し、続いて後頭部を強打した。	55	10701	1	1～ 9
2017	6	9～ 10	工場1Fプラットホームで入庫作業の準備中、リフト通路を横断する際に、走行中のリフトの左前輪で左足を轢かれた。	48	170209	7	30 ～ 49
2017	6	14～ 15	惹起者は、平ボデー車への積み込み作業が終了し、カウンターフォークリフトにて空パレットの片付け作業をしていた。トラック脇の空パレットを仮置場に置きバックした際、トラック荷台のシートを掛けようと車両の側にいた乗務員の右手甲を後輪タイヤで轢き負傷させた。（負傷状況：右足踝と薬指のひび）	61	40301	6	10 ～ 29
2017	6	5～6	卸売市場内1階果実低温売場内において、当社従業員がハンドリフトを後方へ引き出している際、従業員のバック運転中のフォークリフト左後方部分と出合頭に衝突し、被災者は右足の腓骨骨折等を負った。	61	80109	6	50 ～ 99
2017	6	10～ 11	工場敷地内の屋外にて、フォークリフト乗車中に、停止していたところ、前方不注意の他フォークリフトに追突された。全身に衝撃が加わり、頸椎等を捻挫した。	25	10209	6	50 ～ 99
2017	6	16～ 17	業務終了後、トラックの荷箱内の蛍光灯を交換する為、リフトでパレットをすくい、その上で蛍光灯を交換していた際、バランスを崩して落下し、骨折した。	29	40301	1	30 ～ 49
2017	6	11～ 12	倉庫内、荷受け口にて作業中、フォークリフトで商品をプラットホームへ並べていた時、フォークリフトと消火栓が接触し、フォークリフトを前後へ動かしていたところ、プラットホームよりフォーク	62	80109	1	10 ～

			クリフトと共に転落した。					29
2017	6	12～ 13	お客様の敷地内にて、積み替え時、バックしてきたフォークリフトに接触し、左足を負傷した。翌日に腫れ、痛みが悪化した。	44	40301	6		300 ～ 499
2017	6	16～ 17	構内のホームでフォークリフトから降り、ホームの反対側（西側）にある食堂へ歩いて行く途中で、積み込み作業中のバックして来たフォークリフトと接触し、負傷した。	76	40301	6		50 ～ 99
2017	6	13～ 14	倉庫内のホームに10tトラックをつけ、自社のリフトマンからトラックの荷物をホームに下してもらい、ホームの上で荷物の点検及びラップ取り外しの作業をしていたところ、お互い合図をするのが遅れ、リフトの先端部分が足の先に接触する事故になった。原因としては、合図を怠り、もういいだろうと言う安易な考えが巻き起こす事故になった。（代表者と被災者の2名で荷主先に行き、代表者がフォークリフトを借りて運転し、被災者と接触した。）	58	40301	6		10 ～ 29
2017	6	14～ 15	パレットの上で返品作業中、後方を確認せずそのままパレットから降りた際、後方から来たリフトと接触し、足の小指を痛めてしまった。	62	80109	6		10 ～ 29
2017	7	15～16	倉庫内で米のフレコンロープをフォークリフト爪に通す際、爪を右胸部にぶつけた。	48	170209	3		30 ～ 49
2017	7	19～20	敷地内にて、警備勤務交替に向かうため、同敷地内詰所を出て、詰所裏の車両通行帯を徒歩で横断中、後進してきたフォークリフトと接触、転倒し、左足がバンパーと地面の間に挟まれ、そのまま6m程度引きずられ負傷したものである。バンパーが低いため、タイヤまで入っていったいない。	71	150101	7		50 ～ 99
			弊社冷蔵庫（第一冷蔵）の中で、フォークリフトを運転して製品の入庫作業を行っていたところ、リフトにてパレットを持ち上げた					10

2017	7	10~11	時、リフトのチェーンローラーからゴムホースが外れた。ゴムホースをローラーに取り付け、直そうとした時にゴムホースと一緒に右手（親指を除く4本指）がローラーに挟まり、負傷した。	19	80401	7	~ 29
2017	7	9~10	フォークリフトを搬送し、降車作業中、リフトの後輪が積載車後方左側付近に接触し動かない状態となったため、搬送した担当職員が荷台を水平に戻すためリモコン操作を行っていると同時に、リフト運転台に乗車し修正を図っていたところ、リフトが後方に傾きリフトとともに転落。腰部及び胸部を強打。	57	170209	1	300 ~ 499
2017	7	23~24	配送先にて、通常業務である、車両に積んだ荷物の積載状態をデジカメにて撮影している際に、他のパレットを移動していたフォークリフトにより、誤って接触されたため、転倒して背中から首及び足首にかけて強打し、打撲を負ってしまったもの。	28	40301	6	100 ~ 299
2017	7	22~23	インターの間で、処分場から現場へ戻る途中、前方から鳥が飛んできて避けようとハンドル操作を誤り、追越車線側のコンクリート壁にぶつかった。	28	10805	7	30 ~ 49
2017	7	9~10	屋外作業場で自動走行車の不具合があり状態を確認するため、自動走行車を停止し、被災者が手動で再起動させた時、直進すると思っていた自動走行車が右旋回して、近くのコンクリート壁と自走行車に挟まれ右足膝下を負傷した。	43	10899	7	50 ~ 99
2017	7	11~12	倉庫内にて、フォークリフト作業中、なんらかのはずみでフォークリフトのレバーにトランシーバーが挟まってしまい、ギアがバックの状態に固定されてしまい、あわててペダルを放したときにフォークリフトが止まらず、そのままパレットの間に左足が挟まり、負傷してしまった。	37	50101	7	1~ 9
2017	7	13~14	被災者は、当社工場敷地内において、廃材を屋外の廃材置場に置き建屋内作業場に戻る途中、バックしていたフォークリフトに轢かれ受傷した。	30	11209	7	50 ~ 99
			南棟のダミー基板置き場において、廃棄物業者への排出準備とし、				

2017	7	9~10	山積みになっていたダミー基板を減らすため、コンテナとフォークリフトの荷台にまたぎ、ダミー基板を入れたケースをフォークリフト側に移す際に足を滑らせ、高さ約1.2mから転倒、コンテナの角に背中と腰を強打し肋骨と腰椎を骨折。	53	11402	1	500 ～ 999
2017	7	16~17	物流センター倉庫内にてパレット上の商品のラップ巻きをしていたところフォークリフトによる返品商品搬出のためバックしてきたフォークリフトに左足をひかれてしまった。	58	80401	7	100 ～ 299
2017	7	14~15	工場内でパイプの溶接・切断作業中に、工場内を走行していたフォークリフトがパイプに接触したためパイプがずれてすねに当たり負傷したものである。	44	11209	6	50 ～ 99
2017	7	9~10	作業者は、当日朝より、倉庫前のプラットホームにパレットで積載されていた、入荷商品をリフト（リーチフォーク）で片付けていた。被災者は朝礼後別棟の事務所へ移動、その際、作業者が操縦するリフトの左脇を横切った。同刻作業者は、二段に積上っていた商品をラップで固定するため、荷降ろしと共に、リフトを後進させた。その際路面の歪みにより、車体のバランスを崩し、荷崩れを起こした時、移動中の被災者の右後方より、商品が右肩に接触した。	39	80101	3	50 ～ 99
2017	7	18~19	製品倉庫内でフォークリフトを使用して製品の積み込み運搬作業中、保管ラック上段への積み込み後、フォークリフトのマストを下げ忘れ、上死点まで上昇した状態でバック走行をしていた時、倉庫天井の鴨居にマストが衝突。その衝撃でフォークリフトが前方に倒れ、その反動でオペレーターがバック走行していた方向に投げ出され、倉庫床面に背中と左肘を強打した。	55	80401	1	1～ 9
2017	7	11~12	構内2階で作業中、リフコンの調子が悪く、操作パネルで復旧作業をしている際、リフコンの搬入出口前の安全ガード前に左足を出しており、フォークリフトに挟まれた。	34	50101	6	30 ～ 49
			完成品を入れる空コンテナを機械にセット（供給）していた時。一度、空コンテナを機械に供給し次の空コンテナを取ろうとし、振り				

2017	7	8~9	向き様に（周囲の確認を怠っていた）リーチフォークと鉢合わせになった。（この時、安全靴を忘れたため、スニーカーで仕事をしてきた。）その際、リーチフォークリフトの左前輪に左足小指部分を踏まれ、さらに前輪アームの突起と右足の脛を接触させたため、受傷。	62	10805	3	100 ～ 299
2017	7	13~14	被災者（以下「甲」）は、派遣先において商品の入出荷業務に従事していた。甲の後方で、同僚が作業スペースを確保しようとして、駐車中のフォークリフト（以下「乙」）を運転して移動（前進）しようとしたところ運転を誤り、後退してしまった。甲は逃げきれず、乙とカゴ車台車の間に左手を挟み負傷した。原因は、フォークリフトの運転者が、フォークを離れていた時間が長かったため、共同作業者の同僚が、動かしてしまったことによる。	32	170101	6	100 ～ 299
2017	7	13~14	当社倉庫内にて商品の入出荷作業中に、被災者（派遣元）の停車しておいたフォークリフトが作業の妨げになっていたため同僚（派遣元）が移動しようとした。前進にて移動しようとしたところ誤って後退してしまった。急な後退のため被災者は逃げきれず、荷を入れるカゴ車とフォークリフトの間に左手を挟み負傷した。	32	40301	6	10 ～ 29
2017	7	10~11	コンテナ（40フィート、上部が空いていてシートで覆われた状態で、ロープで上下固定されたもの）の開コン作業をしていた。しゃがんでロープを緩めていく作業をしていた処、頭上にフォークリフトの高所作業台があることに気付かず、立ち上がろうとした際、当該高所作業台底部に頭左部をぶつけてしまい、その衝撃で首を捻り、負傷したものである。（ヘルメットは被っていた。）	41	50202	3	1～ 9
2017	7	17~18	倉庫で食品の缶詰を所定の位置に置こうとしてピッキングリフトを使用し上に上がり作業をした後振り返りながら左足を今立っていた位置から1歩前に足を出してしまい、その下にはなにもなくそのまま下に落下してしまった。それで頭右肩腰を打ち付けてしまった。	47	80109	1	30 ～ 49
			当社工場でトイレに入りその後手洗い場から通路に侵入したため、				30

2017	7	16~17	作業中に移動していたフォークリフトに右足親指を踏まれ負傷した。	66	11203	7	~ 49
2017	7	8~9	会社の構内で、パトロール車への舗装補修材の積み込み作業が終わり、片付けを始めたところ、後方からきたフォークリフトのフォーク部分が右足に接触し、前方に停車していたパトロール車との間に挟まれた。	57	30199	6	30 ~ 49
2017	7	9~10	会社工場内出荷場にて被災者が伝達のため出荷場に入り机の上に伝票を置きそこから立ち際ろうとふりかえった際、被災者の後ろを移動していたフォークリフトの左後輪に左足甲をふまれ負傷したものである。被災者が後方の確認をせず咄嗟に動きだしたことが原因と思われる。	23	10103	7	30 ~ 49
2017	7	8~9	プラッター（バッテリー式リーチフォーク）のバッテリー液を補充するため精製水の箱が入っているラックとバッテリーテーブル（プラッター本体からバッテリーを引き出して載せる台）をプラッターで準備していた。プラッターを停止させ運転台（高さ36cm）から後ろ向きで降りる時急いでいたため床面に右足を勢いよく着いたところアキレス腱を切ってしまった。	42	50101	19	50 ~ 99
2017	7	14~15	洗剤の製造作業においてリーチ式フォークリフトを運転していた。後進し、フォークリフトより降車時停車が充分でなく常設ラック支柱に右足を挟み骨折した（人差指・中指小指）以下の2つを原因として推定する。・被災労働者は作業中に原料を床にこぼした。これがタイヤに付着、フォークリフトをスリップさせた。・運転席に20Lのボトルを乗せ脚で固定しフォークリフトを操作しており、ボトルまたは足がペダルに触れてブレーキがかかっていなかった。	29	10899	7	30 ~ 49
2017	7	8~9	完成品を入れる空コンテナを機械にセット（供給）していた時。一度、空コンテナを機械に供給し、次の空コンテナを取ろうとし、振り向き様に（周囲の確認を怠っていた）リーチフォークリフトと鉢合わせになった。（この時、安全靴を忘れたため、スニーカーで仕	62	170101	6	100 ~

			事していた。) その際、リーチフォークリフトの左前輪に左足小指部分を踏まれ、さらに前輪アームの突起と右足の脛を接触させたため、受傷。					299
2017	7	11~12	パレット積みされたミネラルウォーター (2?ペットボトル・段ボール箱入り) をリフト担当者とトラックに積み込んでいた。その際、既に積み込まれた積荷とこれから積まれる積荷の間に緩衝材を挟む作業をしていたが、緩衝材を支える右手がすでに積み込まれたパレットがかかっている事に気づかず、次に積みまれてきたパレットとの間に右手小指を挟まれた。	51	40301	7		50 ~ 99
2017	7	19~20	営業所において荷物の積載をしている際、トラック左後方で待機していたところに積載作業中フォークリフトの左後方と接触して負傷した。	45	40301	6		10 ~ 29
2017	7	10~11	工場東側屋外でリーチリフトにて出荷作業中、出荷ドラムの保管場所へバックで移動し停止しようとしたところ、右後輪が路面のコンクリートの割れているところにはまり、左後輪 (駆動輪) が空転し操作不能となり、とっさに後方のコンクリート壁に左足を出して止めようとしたが、間に合わず、リフト後方とコンクリート壁に左足を挟んでしまった。	39	50101	3		10 ~ 29
2017	7	14~15	工場内で、フォークリフトによる運搬作業中、フォークリフトがオーバーヒートを起こしたため、ラジエターキャップを半分開けて様子を見た後、キャップを外した時、熱湯が噴出し左手にかかり受傷した。	47	11502	11		100 ~ 299
2017	7	14~15	派遣先工場内において、フォークリフトがオーバーヒートを起こしたので、ラジエターキャップを半分開けて様子を見た時キャップを外した所から熱湯が出て手にかかったため熱傷をした。	47	170101	11		100 ~ 299
			流通センター構内で、トラックの積み込み作業中、左側の積み込みを終え右側の荷物を待っていた時に、トラック後方へ移動した際止まっていた24tリフトの左後方におり、その24tリフトを動かそうと					10

2017	7	17~18	したリフトマンが後方確認を怠ったために、脚部がリフトのタイヤの下じきになり、その際リフトのハンドルを回し左足が切断された。	50	40409	7	~ 29
2017	7	13~14	当社工場内銅ダライ置場横において、銅ダライの入った箱をリフトにて荷降ろししようとした際、フォークで箱を持ち上げた時に然程重たくないと感じたため、箱を一気に持ち上げバックさせたが、思いの外、箱が重く重みでリフトが前傾して後方部が宙に浮いた状態となり、後方部が地面に着地した際に背中を打ち、負傷した。	57	11009	3	1~ 9
2017	7	20~21	4階躯体スラブ上で、4階型枠建込作業のため4尺脚立の2段目に乗っていたが、脚立の足元付近に墨出し用穴が、あったため脚立の足が穴にはまり、バランスを崩し左足よりスラブ上へ着地した際に被災した。	37	40301	3	100 ~ 299
2017	7	11~12	上記の物流センター内で、フォークリフト荷捌きを行っている時、他の作業者のフォークリフトが通るため、フォークリフトを停車し、他のフォークリフトが通過するのを待っていた所他のフォークリフトの後部が自身のフォークリフトの後部に接触しその際の衝撃により負傷。	60	80401	6	10 ~ 29
2017	7	10~11	工場内の棚卸しで製品をリフトに積み移動する作業を同僚がしていて、後方を確認してからリフトをバックさせた時、後方を歩いて来た被災者の右足の上にリフトのタイヤが乗り上げて負傷した。	53	10805	6	30 ~ 49
2017	7	10~11	プラスチック工学研究所構内（倉庫前付近）でパレットに載せた荷物をフォークリフトで持ち上げ移動中荷崩れが発生した。慌てて下車し、荷物の状態を確認しに前方へ行った際、フォークリフトが少し動き体に接触した。	31	11301	6	30 ~ 49
2017	7	10~11	プラスチック工学研究所構内（倉庫前付近）でパレットに載せた荷物をフォークリフトで持ち上げ移動中、荷崩れが発生。慌てて下車し、荷物の状態を確認しに前方へ行った際、フォークリフトが少し	31	170101	6	300 ~ 499

			動き体に接触。				
2017	7	13~14	弊社倉庫にて機材（H型鋼）をフォークリフトにて移動し定位置に置く前に、フォークリフトに固定した機材を荷ほどきしたところ、荷くずれをし右足下部に落下してきた。	41	30302	5	1~9
2017	7	6~7	標記1階荷捌場にてリーチリフト（1.5トン）を後進にて走行中速度を出し過ぎておりブレーキをかけようとしたがペダルがニュートラル状態であったために制動が効かず10番バースに接触しそうになり、無意識に左足を後方へ出してしまい壁とリフト間で挟み負傷したものである。	24	50202	7	30~49
2017	7	20~21	BT車に乗りピックアップをしている時、操作を誤り止まっていたリフトのつめ先に足が接触。安全靴を履いていたが側面が当たり、左足裏部分を切り、皮がめくれた。	37	40301	3	100~299
2017	7	17~18	荷物（商品サンプル）を取るために、フォークリフトでパレットを持ち上げ、その上（高さ約1.7m）に人を乗せ、リフトを移動した際に、作業員同士は声掛けをしていたものの本人がバランスを崩してパレットより落下し、腰と頭部を打った。落下後、本人は意識はあった。検査のため入院することになった。	38	80109	1	—
2017	7	15~16	ビール積込作業時、発泡スチロールを商品の中に入れるため準備しているのに夢中になり、右足元を出したところにリフトタイヤに踏まれてしまった。	45	40301	6	1~9
2017	7	17~18	立ち乗りリフトを運転して倉庫内で荷物を運ぶ作業をしていた。その際、バック走行で右側に曲がるためハンドル操作を行ったが、ハンドルの持ち手（グリップ）から手が抜けて右方向へ曲がるハンドル操作が充分でなかったため、ほぼ直進状態でのバック走行となった。このためリフトが壁に衝突しそうになったので、これを回避するため、慌ててブレーキ（ペダルから足を離すとブレーキがかかる仕組み）を掛けたところ、急ブレーキがかかり、リフトが揺れて左足がリフト外に飛び出し縁石とリフトの間に左足を挟まれ、甲のあ	23	170209	7	10~29

			たりを負傷した。				
2017	7	20~21	倉庫内の入荷した商品を置くスペースで確認作業中に建物の柱付近の作業場から別の作業場へ移動しようとしたところ、建物の柱が死角となり、倉庫内走行中のリフトと接触してしまう。その際、左足に痛みを感じた。	27	170209	6	30 ～ 49
2017	7	16~17	工場内でフォークリフトによる製品の移動中、運転手は後方を確認後、フォークリフトをバックしたところフレコンバックの脇から作業場を離れ後ろ向きに出てきた被災者にフォークリフトの後方部が接触したと思われる。被災者は接触時に腰を打ち、前につんのめってこけた時に右足首を捻挫したと思われる。フォークリフトは幅4mの通路で作業をしていたため速度は出ておらずバック音はしていた。作業場を離れていた理由は不明。	57	10805	6	10 ～ 29
2017	7	9~10	検体を冷蔵庫内の検体置場に持って行こうと冷蔵庫に入ったところ、いつもの場所に検体置場がなかったので、冷蔵庫出入口付近で探していた際に、派遣会社運転のフォークリフトがバックで冷蔵庫に進入してきて、気付いた時にはフォークリフトが体の右側に接触し、倒れた時に右足首付近にタイヤが乗り受傷した。	55	10103	6	100 ～ 299
2017	7	10~11	当社フォークリフト運転技能講習場で、講師としてフォークリフトの運転技能講習を行っている時に、受講者が検定コース（クランク）に進入しようとしてフォークリフトを左に旋回させた時、フォークリフト右側に立っていた講師に接触した。フォークリフト右後輪と検定用の柵に挟まれて、右脚すね下部を負傷した。	68	120101	6	30 ～ 49
2017	7	15~16	資材館入口付近で接客中、お客様問い合わせの不明な点を社員に確認しようと、フォークリフトを運転中の社員の所へ行こうとしていた。その際フォークリフトの前方の「爪」の存在を忘れて、そのまま前へ回り込み「爪」につまづき転倒し被災した。	61	80209	2	10 ～ 29
			工場入口に於いて、製品をウォーカーフォークリフトにて運搬しようとしていた際、フォークリフトを用いて、入口脇にあるパ				100

2017	7	10~11	レット（4枚）と段ボールをトラック（4t）に積載作業中の同僚が運転しているフォークリフトに衝突し、左足を負傷した。	61	10899	7	~ 299
2017	7	10~11	工場内で厚さ1.5cmの板の端材をリフトに積む作業をしていた時、リフトの先端に右足をつっかけて負傷した。	53	10401	2	10 ~ 29
2017	7	14~ 15	工場敷地内に於いて、フォークリフト作業時にツメを差し入れたが、片方のツメが地面と指の間でひっかかったため手で調整しようとした時引っかかっていたツメが落ちてきて指が挟まり、左手中指の第一関節の骨にひびが入った。	36	10901	7	10 ~ 29
2017	7	13~ 14	ダンボール積み付け場所でダンボール積み付け作業をしていた。ダンボールケーサーでトラブルが発生したため、立ち上がって歩き出した時にフォークリフトのタイヤに左足を踏まれた。	21	10101	7	30 ~ 49
2017	7	16~ 17	リフトにコンテナ2基を積んで倉庫内を走行。リフトアップした状態で後退したところ、倉庫上部に貼ってあるワイヤーにコンテナが接触し落下。その反動で左横に投げ出されコンクリート床面に落ち背中を強打した。レントゲン検査の結果、横突起骨折と診断された。	49	170209	2	100 ~ 299
2017	7	13~ 14	倉庫内にて、フォークリフトを充電場所に保管するため、後進にて進行し、停止させようとブレーキをかけた時、スリップし壁面に衝突。災害発生時、倉庫内の湿度は高く、床面に水滴が付着し滑りやすい状態だったが、進行方向の安全確認を怠り走行時速の出し過ぎでスリップし、壁面とフォークリフトの間に左足を挟まれた。	24	40302	7	100 ~ 299
2017	7	17~ 18	会社敷地内において枠組壁工法に使用する木材をフォークリフトの爪先へのせ、3m程移動作業中上記材が倒れる可能性があるので手で押さえながら移動を試みたがフォークリフトで台木より10cm程持ち上げて移動して置く時に荷がくずれてしまい、押さえていた足にくずれて怪我をした。	33	10402	5	30 ~ 49

2017	7	10～ 11	コンテナ内で客先パレットへ荷物（木材）の乗せ替えを終えソフトマンガーフォークリフトを後退させたところ、荷物を載せた木パレットが割れ、次の荷卸準備をしていた作業員の足に、崩れた荷物が落下した事故である。	27	40302	5	30 ～ 49
2017	7	10～ 11	倉庫内において、商品運搬作業をするためにフォークリフトを移動させプラッターから降りる際、無理な体勢で降った為足首、ひざを捻って転倒し負傷。	34	170101	19	100 ～ 299
2017	7	15～ 16	弊社流通加工部作業場にて、商品仕分け作業中、後方から来たリーチ型フォークリフトに（運転者弊社社員）追突され、左足を負傷した。	51	40301	6	100 ～ 299
2017	7	8～9	当社工場内、冷凍冷蔵庫棟内の荷捌き場で出荷商品を積んだ水槽器を、被災者と同僚が手押し作業中、後方から走行してきたリーチフォークのフォーク先端部が、誤って被災者の右足首部に触れ、被災者が同部に挫傷を負った。	56	10103	6	100 ～ 299
2017	7	0～1	フォークリフトの右側から乗ろうとしたとき、左足を踏み外してしまい、左膝を強打し負傷した。	47	11502	3	500 ～ 999
2017	7	8～9	ドライ工場入口のエアーカーテンが外れたため、プラッターのツメを上げ修理を行った。修理完了後、プラッターを移動させようとした際に足が滑り、プラッターのツメに脇腹をぶつけ、肋骨を骨折した。一人作業であり、フォークリフトのフォークに乗り、修理を終えてフォークから地上に降り、フォークを下げようとして運転席に向う途中に発生した事故である。	57	10602	3	100 ～ 299
2017	7	21～ 22	KL500ラインボトルチップ回収装置前で、フォークリフト担当者がボトルチップで満杯になった袋（フレコンバック）をリフトでパレットごと引き出そうとして、誤って袋を倒した。助けに呼ばれた被災者が袋を吊り上げるため、袋のベルトをリフトの爪に掛け、リフト担当者へ爪を上げるよう合図したが、挟まれそうになり、爪を	24	10109	7	100 ～ 299

			止めるよう言ったが伝わらず、リフトの爪と回収装置架台の間に左上腕部を挟まれた。				
2017	7	0～1	フォークリフトの右側から乗ろうとしたとき、左足を踏み外してしまい、左膝を強打し負傷した。	47	170101	3	10 ～ 29
2017	7	10～11	敷地内倉庫にて、木製合版をフォークリフトのツメに載せて庫内から引き出す作業の補助を手作業で行った際、少し前進したフォークリフトのバックレストと木製合版の間に左手を挟んでしまった。	55	80409	7	10 ～ 29
2017	7	10～11	敷地内倉庫にて、木製合板をフォークリフトのツメに載せて庫内から引き出す作業補助を手作業で行った際、少し前進したフォークリフトのバックレストと木製合板の間に左手を挟んでしまった。	55	170101	7	50 ～ 99
2017	7	19～20	構内で事務所から駐車場へ歩行移動中、荷卸し・積込み作業をしていたフォークリフトに接触し、タイヤとフェンダーの間に足を巻き込まれた。	56	40301	7	30 ～ 49
2017	7	14～15	当事業所において、商品の棚入れ作業中、フォークリフトにてパレットに積載した商品をパレットラック2段目（高さ約2m）に棚入れするため、パレットラック2段目に上がり、パレットの商品を移動しようとパレットと棚を跨ぎ、重心をパレット側へ移動した際、パレットが少しぐらついたため、体勢が崩れ落下した。その際、床に腰と背中を打ち負傷したものである。	52	170209	1	30 ～ 49
2017	7	11～12	当社倉庫下屋での製品荷卸しの際、スロープ上にフォークリフト1台、スロープ下にフォークリフト1台の2名1組での作業中、下作業員（当該負傷者）がフォークリフト爪幅調整中であることにスロープ上の作業員が気づかず、パレットに製品をのせようとして、製品が倒れ、下作業員まで落下した。その際、下作業員の後頭部に製品がぶつかり、負傷した。	29	40301	4	100 ～ 299
		15～	自社第2工場内において、クランプフォークリフトでキャスター付き容器を移動していた際に、左右から容器を挟もうとした瞬間、被				30

2017	7	16	災者が目に入らず、フォークリフトのアームに左足膝下部分を挟んでしまい負傷した。	56	150103	7	～ 49
2017	7	14～ 15	営業倉庫において、積み込み作業をする際、製品の確認をしようとしてリフトの脇を移動しようとしたところ、リフトマンがバックしたため足を轢かれてしまった。	48	40301	6	10 ～ 29
2017	7	15～ 16	作業中、木製パレットが右足小指に落ち、骨折した。	63	10103	7	1～ 9
2017	7	11～ 12	倉庫内にてフォークリフトで品出し中、行き過ぎてしまったため、フォークリフトを戻さずにフォークリフト上に立ち上がり品物を取ろうとしたところ、前のめりに落下し、左手首と顔面を打ち負傷した。	46	40301	1	30 ～ 49
2017	7	11～ 12	工場に荷物をトラックで納品中、フォークリフトでトラック荷台から荷降ろしの際に、フォークリフト運転手の運転ミスで荷崩れが起こり、荷物が落下し、頭部を負傷した。	20	40301	4	1～ 9
2017	7	14～ 15	フォークリフトに乗車していたところ、所属長からの仕事上の指示が原因で言い争いになった。業務に戻るため一旦言い争いを終わらせて、所属長がフォークリフトを前進させたとき、右足を踏まれてしまった。その際、安全靴は着用していたが、安全靴に守られていない箇所を骨折した（右足踝骨骨折）。	56	80109	7	100 ～ 299
2017	7	15～ 16	荷物配送先の倉庫内において、降ろした荷物が取引先従業員の運転するフォークリフトによって搬出されるのに立会っていた。フォークリフトが荷物に付いている吊り上げ用ロープにツメを差し入れたところ、荷物のバランスが不安定となり、崩れ落ちそうになったため、本人が「待った」と声をかけたが、声が届かなかった。指が荷物のロープとフォークリフトのツメに挟まったまま、フォークリフト運転手が後進してしまい負傷した。	51	40301	7	30 ～ 49
			工場内において、作業者が2段重ねの台車の上段の台車を移動する				

2017	7	11～ 12	作業中、下段台車には左寄りに材料が積まれており、材料移動用のフォークリフトを右寄りにセットして持ち上げ、その状態で下段台車の左寄りに置かれた材料を手で移動させるため、フォークリフトを降りて台車左側に近づいたところ、フォークリフトがバランスを崩して上段台車が落下し、作業者の頭部に当たってしまった。	44	11502	4	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	沈砂設備へフォークリフトで道具を運ぶ際、道具を降ろす作業をするため、運転手の他のフォークリフト脇に被災者が立ち乗りをしていた。到着直前に右転回移動中、被災者がフォークリフトから飛び降りたところ、フォークリフトの左後輪に右足甲を轆かれた。	46	11603	6	10 ～ 29
2017	7	11～ 12	工場内廃棄物置場で、ゴミを廃棄物コンテナに入れる作業を行う際に、廃棄物を載せたパレットをフォークリフトにセットして上昇させ、コンテナの上部に引っ掛けて、そのパレットの上に被災者が乗り、廃棄作業をしていた。その際、フォークリフトが突然後退し、フォークリフトの爪がパレットから抜け、被災者はパレットと共に滑り落ち、その落ちた衝撃により腰部を痛めた。	62	50101	1	30 ～ 49
2017	7	18～ 19	工場敷地内において、鉄の製品（300×300×1800、重さ112kg）を、トラックへ積み込む際、フォークリフトの横でフォークリフトに積んだ製品のバランスを補佐していたとき、足のつま先がフォークリフトのタイヤで踏まれて、負傷した（安全靴装着中）。	28	11209	7	30 ～ 49
2017	7	17～ 18	工場内にて、精米を運送するため12t車に積み込み作業中、12t車に精米を積み、フォークリフトをバックさせ、右足から降りたとき、フォークリフトとコンクリートの間に右足を挟んだ。	53	40301	7	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	資材をフォークリフトで屋外から倉庫へ運ぼうとしたが、先行のフォークリフトがシートシャッターの中にいたので、手前に停止し待機していた。先行のフォークリフトが、シートシャッター内のクイックセーバーのセンサー異常により倉庫側が開かず、外側のセーバーを強制開放した。シートシャッター内のフォークリフトが、一旦屋外に出るため、積載状態で前進走行を行なった。これにより、	44	10803	3	—

			屋外で待機していた被災者のフォークリフトに衝突した。当初、体に異常を感じなかったが、その後、痛みが出てきた。				
2017	7	15～ 16	倉庫棟内にて、製品検品を行う為、5段に積み上げられている製品コンテナ（L1200mm×W1200mm×H1200mm）を床上に平置きする作業を実施後、フォークリフトから降車しようとしたときに、左足首を床面（高さ400mm）でひねり、捻挫をした。	40	10805	19	10 ～ 29
2017	7	12～ 13	構内道路に面した製品ストアの高位置に取り付けた表示板を、道路上に出て見上げて確認していたとき、ラックを積載したフォークリフトが被災者の左側から後退走行してきた。運転者の後方確認不足で、フォークリフトの後部が被災者に接触し、右後部タイヤで左足を受傷した。なお、当該道路は通常、作業者の往来がない箇所であるが、たまたま歩行用安全通路からはみ出したとのことである。	58	11502	6	500 ～ 999
2017	7	16～ 17	フォークリフトで廃棄物を集積場に運搬する作業をしていたとき、通路の坂道の途中で、フォークリフトの後部にのせていたバケツが落下したため、車両を停車し、降車してバケツを拾うため坂道を下り歩いていた。その際、パーキングブレーキを掛け忘れていたためフォークリフトが自重で下り始め、自身と衝突しそうになったため、逃げようとしたが間に合わず、フォークに抱えていた運搬容器と通路のコンクリート壁との間に挟まれ負傷した。	51	10102	7	100 ～ 299
2017	7	11～ 12	リーチリフトでバック走行中、左後方の柱に接近しすぎたため、右足（ブレーキペダル）を放し、リーチリフトを止めようとしたが止まらなかった。咄嗟に左へ逃げようとしたところ、リフトと柱の間に足を挟まれ負傷した。	64	40301	7	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	工場土場にて、フォークリフトで荷役作業後、リフトを停止し下車するときに、脇見をしていたためステップ以外の所に足を乗せてしまい、体勢を崩して横向きに転倒した。その際、受け身をとっていなかったため、コンクリート面で腰を負傷した。	59	10909	1	10 ～ 29
			中央卸売市場本場内、活物売場の北側通路において、南から台車を				

2017	7	4~5	引いて北へ向かい歩行していたとき、西から東へ向かい後進して来たフォークリフトと接触してしまい、右足を負傷した。	64	80109	6	1~9
2017	7	16~17	当社倉庫内において、リーチリフトにて製品パレットを置いたあと、次の作業のため移動しているとき、通路が狭かったため、誤って鉄の柱に左足踵辺りが当たってしまい、打撲した。その後2~3日経ってから負傷部辺りが膿んできたため、病院の指示により入院となった。	67	80401	3	10~29
2017	7	12~13	自社倉庫内で、荷積終了後、フォークリフトを右に旋回して、停車させてからリフトを降りたが、完全に停車操作をせずに着地したため、左足首にリフトが当たり、数針縫った。	40	40301	3	100~299
2017	7	5~6	作業場にて積込み作業中、薄暗かったためフォークリフトの爪に躓き、作業台に左脇腹を強打した。	45	170101	2	300~499
2017	7	17~18	本社倉庫にて、検品作業をしていたとき、フォークリフトのリフトマン（同僚）が後方確認をせずにバックし、自分もそれに気づかなかったため、右足がタイヤに轢かれ負傷した。	67	170209	6	10~29
2017	7	11~12	作業場内のマスターブランカーデリバリー側にて、商品の積上げ状況を確認していた被災者の後方から、同僚が運転するリーチリフトの前輪右タイヤが被災者の右足甲部に接触した。	49	10602	7	50~99
2017	7	2~3	作業員が、商品過不足による再検品を行っていた。リフトマンが、リフトにてバース前を行き来する際に声掛けを行わず、作業員の横を通り、パレットAを取りに行こうとした。その際、足が出ていることには気づかず、そのまま通過しようとしたとき、何かに当たったように感じたため振り返り、作業員に大丈夫かと確認したところ、大丈夫との返答があり、リフトマンは作業を継続した。その後、作業員が左足に違和感を感じて靴下を脱いだところ、怪我をしており、事務所へ報告し病院へ行った。	39	40301	6	300~499

2017	7	15～ 16	被災者が庫内にて整理を行っていたとき、三段目に商品を置き、リフトの爪を降下しながらバック走行で庫内から外へ出ようと扉に近づいたところ、爪を降ろしきれずマストの上部と庫内入口上部が接触し、運転席から投げ出され転倒し負傷した。	54	50101	1	100 ～ 299
2017	7	17～ 18	社内の冷蔵庫にてハンドリフトで後退中、反対側から後退してきたリーチと接触し、はずみで転倒し、右足首がリーチ下部動輪タイヤ付近に挟まれ、開放骨折を負った。	37	40301	7	30 ～ 49
2017	7	10～ 11	同グループ会社の労働者が運転するフォークリフトがバックで走行してきたところ、同じくグループ会社で、運送業務を専属とする弊社の被災者がトラックに配達の荷物を積み込もうとして立っていたのに気づかず接触し、被災者の右足首がリフトと地面の間（約7cm）に挟まれ受傷した。その際、被災者もリフトの存在に気づいていなかった。リフトの車両重量：2,475kg（バッテリー重量含む）	44	40301	7	10 ～ 29
2017	7	9～ 10	フォークリフトを使用して作業中、次の作業に移るためフォークリフトを後進させたときに、フォークリフトがオムニリフターと接触して怪我をした。	39	40301	3	30 ～ 49
2017	7	16～ 17	倉庫内の電球が切れていたため、フォークリフトを使ってパレット30枚程をすくって積み、確認しようとした際にパレットが滑り、バランスを崩して落下した。	40	40301	1	50 ～ 99
2017	7	9～ 10	事業場の駐車場で、フォークリフトの修理のため、トラックにフォークリフトを積み込んだあと、フォークリフトの座席から降りるとき、誤ってトラックの荷台から下へ落ちた。	64	80109	1	10 ～ 29
2017	7	10～ 11	工場内でフォークリフトで積み込み作業中、フォークリフトを止め、荷物の確認をするためにフォークリフトから降りようとしたところ、レバーに服が引っ掛かり、誤って足を滑らせ転倒した。その際に臀部を強打し、背中から腰にかけて負傷した。	69	11301	1	1～ 9
		16～	車両置き場に自社トラックで引き取った車両の荷下ろしに行ったあと、車両置き場内にて商品の確認作業をしようとしていたところ、				10

2017	7	17	当該トラックから荷下ろし作業を行っていたフォークリフトがバックしてくる際に接触し、負傷した。	74	150102	6	～ 29
2017	7	10～ 11	工場内で巻き取り紙を荷卸し中に、リフトマンと声を掛け合い確認しながら、クランプで掴んで降ろしていたところ、確認が出来ないまま掴んでいたため、巻き取り紙とクランプに両手親指を挟まれた。	50	40301	7	30 ～ 49
2017	7	8～9	被災者の誘導により、リフトで古紙の荷物を降ろすため、トラックの荷台にリフトを押して来たときに、備品として置いていた角材と閉めていたあおりの間に右足が挟まった。	49	40301	7	50 ～ 99
2017	7	13～ 14	場内で選別作業中、バックしてきたリフトに気づかず、右足を轆かれた。	63	150102	7	30 ～ 49
2017	7	1～2	トラックの荷台にあるパレットを後ろまで移動させ、リフトでパレットを降ろすために荷台から後ろ向きに降りようとしたところ、足が滑ってリフトの爪に脇腹が当たった。	63	40301	3	100 ～ 299
2017	7	9～ 10	プレス機ベアラー付近で作業をしていたとき、雑誌を運んできたフォークリフトに押され、ベアラーピットに落下した。	48	10602	1	10 ～ 29
2017	7	13～ 14	養鶏場での仕入作業中、被災者は、鶏舎の2階外壁にある扉（高さ約3m）から、鶏を入れたかご（横約70cm、縦約50cm）をフォークリフト（鶏舎に横付け）を使用し、地上にあるトラックに積み込む作業をしていた。フォークリフトには、かごを滑りやすくするために油を塗ったパレット（横140cm、縦160cm）をのせ、その上にかごを2列に7段ずつ積み込んでいた。しかし、かごの滑りが悪かったため、パレットに右足を掛けて積み込もうとした。その際に、油で滑りやすくなっていたため、右足が滑り、そのまま地面に落ち負傷した。	26	10101	1	10 ～ 29

2017	7	10～ 11	梨荷受場所で、作業開始により定位置に移動中、フォークリフト1.5t（荷重）と接触し、右足を踏まれて骨折した。	35	10109	6	50 ～ 99
2017	7	19～ 20	木造改修住宅の工事完成後、足場材を解体し、リース会社へ返却し、足場材をフォークリフトで下ろす作業中に、爪を広げようとして落下し、左手指3本を挟み骨折した。	22	30202	4	1～ 9
2017	7	9～ 10	ブロック工場資材置場付近で、製品の脱型のため、リフト（クランプ車）で高さ30cm位の所まで製品（約43kg）を上げて、製品表面に付いている鉄板を外す作業中に、左先端の1個が外れ落下した。その際、たまたま製品の在庫確認のためにいた本人の左足甲の上に落ち、左足中指・薬指を骨折した。	59	10901	4	30 ～ 49
2017	7	11～ 12	場内にて、道板4mを移動させようとバックしたフォークリフトの左後のタイヤで、右足甲を轢かれて負傷した（安全靴着用）。	46	80409	7	10 ～ 29
2017	7	16～ 17	沿岸から船にコンテナをクレーンで積み込む作業を行っていた。コンテナをダブルで積み込む際に、フォークリフトでコンテナをセットし、コンテナにフォークリフトの爪が刺さっていることに気づかずバックした。爪が刺さったままバックしていたため、コンテナ上にいる作業員のことは確認しておらず、動いているコンテナから作業員が落下した。	52	50202	1	10 ～ 29
2017	9	15～ 16	自社資材倉庫において資材整理のためフォークリフト（2.5t）を使い木製パネルを移動しようとしていたところ、移動させるパネルをフォークリフトの運転者へ指示しようとして近づいた際、フォークリフトの爪部分（長さ90cm、地上から15cmの高さ）に足が引っ掛かり前方へ転倒し、右足の膝からすね部を地面（コンクリート）に打ち同部位を負傷した。	75	30209	2	30 ～ 49
2017	9	16～	冷凍工場前で、輸出用の製品にシール貼りの作業中、傾斜地に駐車してあったフォークリフトが勝手に下がってきて後輪が右足の上を	21	10102	7	10 ～

		17	通過し、右足甲を打撲した。					29
2017	9	14～ 15	製品倉庫内にて、フォークリフトを使用し荷受けステージ上へ運搬していたところ、荷卸しの際にフォークリフトの爪がパレットに引っかかったために爪を抜こうとバックしたが、アクセルを踏み過ぎ、ハンドルが切られていたために急旋回し、ステージ下（約1.5m）へフォークリフトごと落下した。転落の際にコンクリート床に体を打ちつけ、左足踵の骨折および第五脊椎を圧迫骨折したものである。	59	10105	1	～	100 299
2017	9	9～ 10	事業主自宅敷地内の農業機械及び資材置き場にて、農業機械を収納するスペースを確保する目的で、置いてあった木材を移動させていた。木材の片方をフォークリフトの爪にかけたロープで吊り上げ、できた隙間に鉄パイプを差し入れて木材をスライド移動させようとしていた際、木材を吊っていたロープがリフトの爪から外れ、木材が落ちてきて、下に手を置いていた被災者の左手親指部分が挟まれ負傷した。	27	60101	4	1～ 9	
2017	9	13～ 14	会社敷地内で、トラックの荷台のアオリを閉めようとしていたところ、フォークリフトの前輪で足を踏まれた。	38	80109	7	10 ～ 29	
2017	9	13～ 14	ホームセンター商品を扱う物流倉庫内で、ネスに入った商品を移動しようとした際、原則ネスを動かす場合は、2段までと規定があるが、3段重ねたまま移動してしまったため、バランスが悪く、一番上のネスが落ちてきてしまい、右首から右肩にかけて負傷した。	62	80401	4	50 ～ 99	
2017	9	15～ 16	運搬中のフォークリフトが打ち合わせの為に材料をチェックしていた被災者の近くで停止した。打ち合わせ後、発進時にフォークが振られ左後輪が接触して、右足甲を負傷した。	60	11001	6	—	
2017	9	18～ 19	ゴム練りを行うロール機前で、ロール機側から背部の通路側へ振り返り、歩行を始めた際、運搬作業をしていたフォークリフトに右足	33	10806	7	～	500

			を踏まれ、被災した。				999
2017	9	17～ 18	会社工場内で搬出資材をフォークリフトに集積作業中、集積用工具が走行先に置かれていたため、片付けようとフォークリフトから降りる際に、足が運転席脇の変速機部に当たり、バランスを崩した状態で落下し、左肘、左手を打撲した。	55	10401	1	10 ～ 29
2017	9	11～ 12	工場内検査場所にて作業中、後方に3歩ほど下がった所に、フォークリフトが走行していて接触し転倒。右足小指を骨折した。	68	11002	6	10 ～ 29
2017	9	18～ 19	入荷受付付近で出荷作業をしている際に、センターのスタッフが運転するフォークリフトが積み荷を持った状態で前進している時に、後ろ向きで立っていたスタッフと積み荷が接触したものである。	45	40301	7	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	職場構内にて、本人は昼休み時間になったので休憩場所へ向かう途中、運搬中のフォークリフトパレット先に接触、ふくらはぎ下部をぶつけてしまった。	59	80109	6	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	上記日時、職場構内で休憩時間に、休憩場所へ向かう途中、運搬中のフォークリフトパレット先に、ふくらはぎ下部をぶつけ、痛めたものである。	59	170101	6	100 ～ 299
2017	9	8～9	被災者は、期末棚卸しのために共同作業者が操作するピッキングリフトで約1mの高さに持ち上げたパレットに乗って、製品ラック2段目（高さ約1.5m）にある製品の数量を確認していた。（パレットの寸法は110cm×110cmであった。）共同作業者は、被災者をパレットに乗せて持ち上げたままピッキングリフトを低速で移動し、対象製品の前で停止した。被災者は製品ラックの奥にある対象製品の数量を確認しようと、パレット上を製品ラックに向かって右側へ移動したところ、目測を誤りパレットから足を踏み外して床面に転落した。（被災者はヘルメットと安全靴は着用していたが、安全帯は使用していなかった。）転落した時、製品ラック1段目フレームの角（高さ約15cm）に右脇腹を打ち付けた。すぐに共同作業者が	39	10701	1	100 ～ 299

			上司に報告し、被災者を救急車で病院に搬送した。				
2017	9	9~ 10	倉庫内に於いて、トラックに積む荷物をリーチフォークで持ち上げ後退した際、後ろに止まったリーチフォークと接触、リーチフォーク外に出していた左足が挟まれ病院に行く怪我をした。	32	170101	7	50 ~ 99
2017	9	11~ 12	当社機材置場に於いて、舞台等で使用する照明器具を吊るす鉄骨性の器具を整理作業中、当社社長が運転するフォークリフトの左前輪が被災者の右足に乗り上げ、右足小指中指を受傷したものである。	52	100109	6	1~ 9
2017	9	4~5	上記日時、いつもの通り、フォークリフトにて工場敷地内の坂の上にある資材置き場から、坂の下にある羽柄材加工場へ羽柄材（建築に使う木材の一種、3000×45×90、180本）を運搬中、坂の途中で両サイドに停車中の車との車間が狭く感じ、ぶつかると思い、停車中の車を避けるために右に急ハンドルを切った折、ブレーキ操作を誤り、フォークリフトごと道路脇の段差より道路外へ転落し、テント製品置き場に衝突、フォークリフトに体をぶつけ、鎖骨を骨折したものである。	47	10402	3	50 ~ 99
2017	9	10~ 11	事業所組立工程79検収所内にて、第一当事者がトラッキー作業にて台車運搬後、台車の連結を外しピックアップエリアまで台車を手押しし進行方向に対し、90度回転し左から手押しをしていた際、停車横をバック走行して来たフォークリフトに接触し、右足をフォークリフト左後方のタイヤで踏まれた。状況についてビデオ監視カメラ動画あり。	33	11502	7	50 ~ 99
2017	9	15~ 16	倉庫下屋でAはトラックのアオリを上げようとしていた。フォーク操作者Bは、Aの左後方からAと荷物との2mの間隙を走行しようとした。Aがアオリを上げる際、踏ん張った左足が外側に開いてしまい、Bは隙間を走行する際、荷物に気を取られてAの開いた左足に気づかず走行した為、BのフォークがAの左足甲に乗り上げた。	36	40301	7	1~ 9
			操業終了時リフトにて材料の準備を終えてリフトから下車した時に、ふらつきリフトの座席に手を伸ばし捕まろうとした時、座席の				

2017	9	17~ 18	シートに穴があいており、そこに小指が引っ掛かり小指を骨折した。朝から風邪気味で薬を服用していた、災害時に脱臼したと思い、自分で治したが2日経っても腫れたままだったので、月曜日に病院へ行き骨折と診断された。	58	11002	7	100 ~ 299
2017	9	14~ 15	センター内にて、足場材の整理作業を行っていたが、フォークリフトの運転者が積荷のスチール製の足場板を荷揚げ作業中に落下してしまい、右足・腰下・太腿・膝に当たり負傷した。	58	170101	4	30 ~ 49
2017	9	2~3	市場内でリーチ式フォークリフトを運転中、段ボールがリフト下に入り取り除くため降りようとした際、リフトが動き、リフトと冷蔵庫扉のガードポストとの間に左足がはさまり無理にはずそうとして、左足内側を裂傷した。	50	40301	7	50 ~ 99
2017	9	10~ 11	当社培養センターの空ビン置場で、フォークリフトで空ビンの運搬作業中に、バックする際鋼鉄製の柱に、後方確認を怠ったためフォークリフトのカバーより、投げ出していた右足をぶつけて、スピードが出ていたため、かなりの強さで圧迫した。	22	10109	6	10 ~ 29
2017	9	22~ 23	荷卸し構内に於いて、右ウィングを上げ長天物 (2.7m×0.7m×0.2m) を車両後方に構内員がリフトで積み込む、その上前方に当該パレットを積み込むも不安定だったので、一度取り卸した。乗務員は安定するよう荷物を固定し始めた、その間、構内員は他の乗務員と打ち合せをしていた。しばらくして構内員は乗務員が固定し終えたと思い、リフトで当該パレットを上げながら左に旋回したが、当該パレットが遠心力で右にずれ、右前方にいた乗務員の背中に荷物が落下、負傷する。	64	40301	6	100 ~ 299
2017	9	17~ 18	センター内において、積込作業中、構内走行中（物流センター（労）の運転するもの）のリーチリフトが後方から走行してきて、右側を通りぬける際に右足をふまれた。	54	40301	7	30 ~ 49
			当社工場にて、ペットボトルの選別作業中パレットの準備作業をし				

2017	9	15～ 16	ていたところ、同僚の運転するフォークリフトが圧縮したペットボトルを積んだパレットを2段に重ねようと荷を上げ前進しつつ右へ旋回したところ、誤ってフォークリフト左後方にいた被災者の左足を轢いてしまい負傷した。	56	150102	7	1～ 9
2017	9	16～ 17	本社倉庫内に於いて、積み込み商品の検品作業中、後進してきたフォークリフトに接触し、転倒した。その際、右足を負傷した。	38	40301	6	100 ～ 299
2017	9	13～ 14	凍結した漬けを入れたトレー（厚さ5cm位）を20段2列（40枚）を台車の乗せ、冷蔵庫から加工場へ搬送途中リフトを接触。リフト乗務員は被災者を確認した時点で停止したが、被災者は間に合わず停止していたリフトのツメの先端にのりあげる状態で接触。（台車に積んでいたトレー3～4枚くずれ程度の衝撃）その際、右側にあった3t秤の台に転倒し負傷した。	52	10102	6	50 ～ 99
2017	9	13～ 14	工場内において、凍結した漬けを入れたトレー（厚み5cm位）を20段2列（40枚）を台車の乗せ、冷蔵庫から加工場へ搬送途中停車しているリフトと接触、リフト乗務員は被災者を確認した時点で停止していたが、被災者は間に合わず停止していたリフトの爪の先端にのりあげる状態で接触（台車に積んでいたトレー3～4枚くずれ程度の衝撃）その際、右側にあった3t秤の台に転倒し負傷した。	52	170101	6	100 ～ 299
2017	9	16～ 17	倉庫でバン詰作業終了後、作業員がコンテナを閉めようとしたが閉まらなかったため、クランプリフトでコンテナのドアハンドルを押して閉めようとした。その際、被災者が左手でドアハンドルを持ってクランプで押し、ドアハンドルをフックに掛けようとした時クランプがずれて、左手親指がはさまれ負傷した。	68	170101	7	50 ～ 99
2017	9	13～ 14	本社工場1階通路にて、被災者が材料を納品に来た運転手に業務事項伝達の為に工場内通路を歩行中、本社勤務者が内線を使い、会話をしながらバック走行で運転するフォークリフトの左後輪タイヤが被災者の左足に乗り上げた。	58	11203	7	50 ～ 99

2017	9	16～ 17	<p>鑄造第3工場内にてフォークリフトが停止している時、被災者がフォークリフトの側に来て、運転手がフォークリフトを前進させた際、フォークリフトの右後輪が被災者の右足踵に当たり、負傷した。</p>	52	11002	6	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	<p>倉庫1階にて、高所に保管中の荷物を取り出す際に数枚重ねたパレットに乗りフォークリフトで持ち上げてもらった。荷物を取って下げてもらっている最中、地上間際でバランスを崩しパレット（高さ2mくらい）から落下、左手首を骨折した。</p>	50	80109	1	10 ～ 29
2017	9	15～ 16	<p>事業所で、受傷者Aは異常品検品作業後、入荷品仕分け場（リフト作業エリア）に移動した。リフト乗務員は受傷者がリフト作業エリアに移動したことに気付かずに作業を続けた。荷物整理の為、リフトをバック走行させたところ、リフト後方から「うっ」という声が聞こえた為振り返ると受傷者が後方に倒れていることを確認した。事故状況を、受傷者・リフト乗務員双方に確認したところ、双方ともに受傷者にリフトが接触したか記憶がない、わからないとのことである。</p>	57	50101	7	1～ 9
2017	9	16～ 17	<p>倉庫でバン詰め作業終了後、作業員がコンテナを閉めようとしたが、閉まらなかった為、クランプリフトでコンテナのドアハンドルを押して閉めようとした。その際、被災者が左手でドアハンドルを持ってクランプで押し、ドアハンドルをフックに掛けようとした時、クランプがずれて、左手親指がはさまれ負傷した。</p>	68	50202	7	10 ～ 29
2017	9	8～9	<p>被災者が始業と共に出荷商品を作る為、手に番線、番線カッター、シノ、札を持ち置場へ向かおうと、工場内通路を歩いている時、3.5tのフォークリフトが左旋回しながら、バックしてきた。リフトマンはミラー越しに見たものの、目視での後方確認を怠った。被災者はリフトに気付かずよけきれず、左右のつま先をタイヤでひかれた。</p>	30	80409	7	10 ～ 29
			<p>協力会社の2t車が荷積み場所に入るため方向転換しようとしたとこ</p>				

2017	9	10～ 11	ろ、荷積み場所から別のトラックが退場中であったため、2t車はその場でしばらく待機していた、一方、被災労働者はフォークリフトに乗り、荷物を10t車へ積み込む作業担当だった。フォークリフトをバックさせた際に基本動作を逸脱し、一切後方確認をしていなかったため、本人が気づいてブレーキを掛けたが間に合わず、2t車にフォークリフトを接触させた。	57	40301	3	50 ～ 99
2017	9	15～ 16	倉庫内で、フォークリフトのつめにぶら下げた粉体の入ったフレコンの重みで、そのフォークリフトが前方に傾き後輪が浮いた状態になっていた、別のフォークリフトで元に戻そうとした、横側から別のフォークリフトのつめを傾いたフォークリフトのマスト部分をロープでくくりつけ、別のフォークリフトを運転してつめを持ち上げたところ、傾いたフォークリフトが急に元に戻り、別のフォークリフトのつめが、傾いたフォークリフトのつめの上にあったため、別のフォークリフトの方が引き上げられて横転した、その際、運転していた者も地面と一緒に横倒しとなり、地面に体を打ちつけて負傷した。	59	11709	2	10 ～ 29
2017	9	8～9	荷卸し現場に於いて、フォークリフトを操作し、荷卸しを行っていた所リフト操作を誤り後退、反動で体がリフトマスト部分に当たっていかれ、左手小指部分を接触、負傷した。	27	40301	7	10 ～ 29
2017	9	15～ 16	1Fフロアにおいてフォークリフトにて荷捌きを行っている際、バック走行をしブレーキペダルを離し停止しようとしたがブレーキが利かずガードレール接近し、咄嗟に左足を出してしまいガードポールとフォークリフトの間に左足踵を骨折した。	32	50101	7	50 ～ 99
2017	9	14～ 15	建屋と建屋の通路で、棚の解体中、棚の底板を解体、リフトにスキッドを乗せただけの状態で、スキッドに底板を移す時にバランスを崩し固定されていないスキッドに足をかけて落下し、体を地面にうちつけ負傷した。	51	11209	1	30 ～ 49
			フォークリフトでトラックへの積み込み作業をしていて荷台のバラ				

2017	9	13～ 14	ンスを調整するため、フォークリフトを降りて調整するためバンギに手をやった時に、フォークリフトの爪から積荷がずれてバンギと積荷の間に右手人差し指第一関節を挟んで負傷した。フォークリフトの爪の入り方が浅かったのと、バンギの横を持たずに人差し指をバンギの上において持っていたため、負傷したものである。	56	11209	7	10 ～ 29
2017	9	13～ 14	倉庫内で出荷作業中、通路走行時にハンドル操作を誤り、ネステナーと接触しそうになった為、ブレーキペダルを放したが間に合わず通路沿いに設置してあるネステナーに衝突した。その際、反射的に出した左足がフォークリフトとネステナーの間に挟まり左足首を負傷した。	25	50101	7	50 ～ 99
2017	9	9～ 10	柿の選果場で柿を箱詰め作業中、通路をフォークリフトが通過した際、自身の左足がフォークリフトの左後輪に踏まれ受傷した。	47	10109	7	100 ～ 299
2017	9	9～ 10	柿の選果場で柿を箱詰め作業中、通路をフォークリフトが通過した際、自身の左足がフォークリフトの左後輪に踏まれ受傷した。	47	170101	6	100 ～ 299
2017	9	15～ 16	当社構内の集積場において、鋼矢板（長さ8.5m幅50cm高さ30cm重量510kg）を7段（総重量4tあまり）にして、フォークリフトでトラックに積み込むため、独りでの作業中にフォークリフトを降りてフォークリフトの爪を差し込むための目印を鋼矢板の中心に付けようとしたところ、無人のフォークリフトが自然に動き出してしまい、鋼矢板とフォークリフトの間に左足が挟まれて負傷した。	62	40301	7	30 ～ 49
2017	9	10～ 11	会社工場内の製品収納スペース内において、立ち乗りリフトで後進中、製品収納棚のフレームと右腕肘部分が接触し、フレームとリフトで挟まれた状態となり、右腕部分を負傷したものである。	22	10602	7	30 ～ 49
		16～	被災者は、冷凍庫内でフォークリフトによる収納作業中、床の一部がアイスバーンになっていることに気付かず、フォークリフトをバックさせた際（原料肉運搬中）ブレーキをかけたが止まれずに反				50

2017	9	17	射的に左足をフォークリフト外に出してしまい、原料肉（ダンボール）とフォークリフトの間に左足が挟まり、左足足首を粉碎骨折した。	39	10101	7	～ 99
2017	9	11～ 12	構内でトラックのホクを止めているロープが切れているのを見つけ修理するためリフトでパレットをすくいロープが届くところ（1mほど）まで上げ作業を始めた、ロープを伸ばそうと引っ張った時、ロープが切れ弾みでパレットから落下し、腰を強打し骨盤の骨折をした。	69	40301	1	～ 299
2017	9	16～ 17	並んだパレット間で従業員が積荷作業をしており、フォークリフトで積荷作業が終了したパレットを移動させようとした時に、勢いあまってパレットを前に押ししてしまい、従業員の足首がパレットの間に挟まれた。	19	170101	7	50 ～ 99
2017	9	16～ 17	倉庫内で、並んだパレットの間で従業員が作業しており、フォークリフトで積荷作業が終了しているパレットを移動させようとした時に勢いあまってパレットを前に押ししてしまい、従業員の足首がパレットの間に挟まれた。	19	40301	7	100 ～ 299
2017	9	17～ 18	3号上屋北側のコンテナ貨物荷捌き場内にて、貨物入り12フィートコンテナのドアを閉めようとしたところ左側のドアに歪みが生じ、閉まらない為フォークリフトを使用し爪先でコンテナを持ち上げ左側のドアの歪みを直し作業員2名で閉め、次に右側のドアを閉めようとしたところ右側のドアにも歪みが生じた為、コンテナを降ろさなければ閉まらなと判断したフォークリフトオペレーターが右側のドアを閉めようとしている被災者の右足のつま先がコンテナの下に入っているのに気付かず、コンテナを降ろす操作をした為右足のつま先がコンテナと路面との間に挟まれ被災したものです。事故の原因はフォークリフトオペレーターが、被災者に対して降ろして良いのか声掛け確認又は退避を促す指示等の安全確認を怠ったことによる。	17	50202	7	30 ～ 49

2017	10	6~7	被災労働者は工場構内で、工場内のワイヤーとロープでつながれている安全帯を装着し、バルク車の天井に乗り、フォークリフトが運ぶトランスバッグ内の飼料をバルク車に入れ終えた際に、当該フォークリフト運転手が、被災労働者の合図がないにもかかわらず、過失によりフォークリフトを後退させたため、当該ロープにフォークリフトのフックが引っかかり、被災労働者はそのため引っぱられ、宙吊りにされ安全帯による圧迫のため、肋骨が折れた。	56	40301	6	1~ 9
2017	10	11~ 12	建設が元請のソーラーパネル設置現場で、別の人運転するフォークリフトの後部に乗って移動中、急発進した際に転落して腰の骨を折った。	33	30301	1	10 ~ 29
2017	10	11~ 12	当社顧客の倉庫前で、当車の回収車（パッカー車）後方で、リフトに一度停車してもらいダンボールを2、3束パッカー車に積み込んでいたところ、急にリフトが前進してきたので、ストップと呼びかけたが止まりきれず、パッカーとリフトの間に挟まれた。	43	80109	7	10 ~ 29
2017	10	20~ 21	ホーム下で積込作業中、フォークリフトに乗り込もうと右足をステップに掛け、次に左足を上げて乗り込む一連の動作中に、肉離れを発症し負傷したもの。	56	40301	19	50 ~ 99
2017	10	10~ 11	空容器置場にて、車輛庫内から所定場所へ空容器を手で運搬の際、他作業者が空容器積込作業中のフォークリフトを通過時、フォークリフト作業者が後部を良く確認せず後退した為、フォークリフトと接触転倒して、フォークリフト後輪で右足を踏まれ右足を負傷。	42	40301	6	50 ~ 99
2017	10	14~ 15	支店の構内で、リフトで木材を移動して降ろしている時に、リフトが動いて足が轆かれた。	41	10401	7	—
2017	10	14~ 15	事業所内において自社トラックより当社従業員の運転によるフォークリフトで空パレットを降ろし、フォークリフトを後進させた。フォークリフトの後ろで待機していた本人に気付かずにそのまま後進してしまい、フォークリフトのタイヤが右足部に乗り上げてしま	44	40301	7	10 ~ 29

			い、負傷してしまった。				
2017	10	10～ 11	工場内で製品にバンドをする際に、本人が通路に飛び出したところ、通路を通っていた前方不注意のフォークリフトと接触して負傷した。	35	11502	6	100 ～ 299
2017	10	10～ 11	お客様構内にて荷卸作業中、自車輛脇で荷台の整理をしていたところ、フォークリフトを運転していたお客様従業員が自車輛付近でフォークリフトを旋回させた際、自車輛とフォークリフト後部の間に体が挟まれてしまい、右腕、背中右側、右足を打撲した。	45	40301	7	50 ～ 99
2017	10	14～ 15	倉庫敷地内にて検品作業中に高い所の物を見ようとしてフォークリフト本体とマストの間に立ったところ、足が操作レバーに接触してしまい、フォークリフトの屋根とマストの間に挟まれてしまった。	30	40301	7	30 ～ 49
2017	10	4～5	本社1階紙倉庫にて製品を動かす為にブラッターを操作していたところ、壁と停めてあった別のフォークリフトにかなり近寄ってしまったので慌てて右側に戻そうとしたが、操作を誤って左旋回をしてしまった。その際、左足先がブラッターよりはみ出した状態となっていたため、停まっていたフォークとの間に挟まってしまい第一趾、第二趾間を裂傷負傷したもの。（当日は夜間勤務中。）	18	10701	7	100 ～ 299
2017	10	18～ 19	支店構内で、作業中のフォークリフトの直近を歩いて通過しようとした際、フォークリフトがバックをしてきて大腿部に接触し前の方に転倒してしまった。	33	40301	6	50 ～ 99
2017	10	9～ 10	自動倉庫内部品（ステンレス熱交換器、重量2kg）の搬出作業中、搬出口部内の木枠パレット架台部に足を掛け、手作業にて部品で荷下ろしていたところ、バランスを崩し自動倉庫搬出口付近床部固定してあるフォークリフト止め具の上に左足をのせてしまい左足を捻り損傷した。その後、熱交換器を持ったまま転倒したところに、その熱交換器と床との間で手を挟んでしまい、左手裂傷、骨折となった。	37	11203	2	30 ～ 49
			作業場において、トラックの出荷準備の作業をしている時、1台目				

2017	10	17～ 18	のフォークリフトの後部に手袋を置き忘れたので2台目のフォークリフトを降り、直進中の1台目リフトに近付いた時、1台目リフトが急に右折した為、1台目リフトの左後輪に足を踏まれ左足首甲脱臼、第1指から第5指まで骨折した。被災者は1台目リフトが直進すると思っていた。	26	11209	7	10 ～ 29
2017	10	16～ 17	会社工場内作業場において、合板集めの作業中にバック運転で走行してきたフォークリフトに、通路付近で後向きにて作業していたために近づいてきたフォークリフトに気付かず、フォークリフトに右足首を踏まれ打撲した。	69	10401	6	50 ～ 99
2017	10	15～ 16	フォークリフトにてピッキング作業中、最上段ケースを下ろす為、フォークリフトの爪を20cm程上げ、その上に乗り作業。最上段のケースを持ち、爪から降りる際にバランスを崩し安全靴が脱げ、素足で着地した際に右足かかとを骨折した。	63	10609	1	—
2017	10	8～9	ドラム工場仕上げ作業場において、けんすいによるバリとり作業中、同じ構内で従事している別会社の工員が、フォークリフトでローラーコンベア上のパレットを取ろうと回転した際に、被災労働者の左後方から激突し、右足を巻き込んだまま数十センチ引きずった。	39	11002	6	10 ～ 29
2017	10	13～ 14	作業場所付近を左側歩行中、後ろからリーチフォークリフトが接近していた。歩行中に障害物（荷）を避けようとして右に移動した時に、右足側部を轢かれた。	50	40301	6	30 ～ 49
2017	10	16～ 17	当社事業場内においてフォークリフトにアルミ缶を乗せる作業中の被災である。4t車からアルミ缶の入ったフレコン（袋）をフォークリフトのバケットに乗せる作業中、バケットを降ろした時に足を挟み、左足の親指と人差し指を骨折した。（左第1中足骨、左第2中足骨骨折）	20	150103	7	10 ～ 29
			会社の敷地内にて、袋物資材を2tトラック（荷台の高さ850cm）に積み終え地面に降りる際、トラックのあおりが立ててあり、そのへ				

2017	10	9～10	り部分に片足を載せ、もう片足を、10cm程離れた所にあったエンジン式フォークリフト（2t）の積載部分に載せた。そこには、パレットが載っていた為、地面からの高さは、1m20cm程と思われる。その状態から地面に飛び降りた際、かかとを負傷。	44	80201	1	1～9
2017	10	13～14	包装・梱包作業場よりハンドリフトを使用してパレットに積んだ製品を出荷置場まで後ろ向きに運搬していたところ、フォークリフトを使用し出荷置場の手前のトラックバース付近にて運搬作業を行っていた。被災者が後方に旋回した際にフォークリフト後部と背中が接触し、両膝が地面につくように倒れ右足脛部がフォークリフト後方底部に巻き込まれ骨折した。	45	11709	6	50～99
2017	10	8～9	取引先従業員が2番積込場でトラックより製品をリフトで降ろす作業をしている時、通常より荷量が多かったため、本来は引き取り用ラック横へ置く所、書庫の前へ臨時的に1p/t置いた。2p/t日を①へ重ねるため積込場で方向転換をして?の位置より前進した。左路面に穴があるため、リフトの爪を30～50cm上げ、喫煙室を過ぎた辺りで右前にある銀ラックと製品が接触しないよう気にしながら前進した所で被災労働者と接触したが気付かず、更に前進した。1m程先で倒れていた被災労働者の右すねと製品を載せたパレットが接触した所で違和感を覚え、リフトをバックさせてエンジンをかけたまま降車した。（被災労働者は給水のため、休憩室へ向かう途中だった。）休憩室前を通過してリフト前方を確認し、初めて災害の発生を知った。	72	10609	6	30～49
2017	10	7～8	倉庫にて、荷物を片付けている時にリフトと接触、左足を踏まれた。	45	80109	7	30～49
2017	10	11～	4トン車にて配達先に到着、パレット荷卸しのため、ウイングを開け先方のプラッターにて荷卸しを開始、2パレット目の荷卸しの際、勾配のためバック時に勢いがつき止まることが出来ず後方にお	22	40301	7	50～

		12	<p>いていたパレットナーに衝突。その際に左足がプラッターとパレットナーの間に挟まり左足人差し指を負傷した。</p>					99
2017	10	10～11	<p>倉庫内にて、棚2段目からケース（重さ2～3kg）を取り出すためにパレットに乗り、別のリフト操作者が、50cmほどパレットを上昇させてケースを取り出した。降りようとしたところで足を踏み外し、ケースを持ったまま腰から転倒する。</p>	55	40301	1		50～99
2017	10	10～11	<p>負傷者は、貨物駅構内の上にてフォークリフト運転者と2名で商品（返却架台：約400kg）をコンテナへ積み込む作業を開始した。商品の足元にフォークリフトの爪を差し込み持ち上げたが、商品の重心が高くバランスが悪かったため、負傷者は商品を支えながら作業を続けた。負傷者が商品から手を離れた際に商品のバランスが崩れ倒れそうになり、咄嗟に支えようとしたが支えきれず商品が落下し下敷きとなり左足を負傷した。</p>	35	40302	5		30～49
2017	10	20～21	<p>トラックより荷下ろしをしたパレット貨物を一旦横並びに2枚仮置きをした。仮置きをしたパレットの移動をフォークリフトで行うため、向かって右側のパレットにエントリーした後に一旦後方に1メートル程移動した。その後、左隣の貨物に接触しないように右へ旋回しながら前進走行した際に、横から徒歩で出てきた被災者の右足首部分が、フォークリフト左後輪と接触し負傷したものである。</p>	60	50101	3		1～9
2017	10	9～10	<p>支店のホーム上で被災者が台車を後ろ向きに引いていたところ、トラックの荷台からフォークリフトが後退してきた。そのまま接触し、倒れた際にフォークリフトのタイヤが被災者の左足に乗り上げ、轢かれた。その結果、遠位脛腓靭帯損傷、左足関節脱臼腓骨幹部骨折となった。</p>	49	40301	3		50～99
2017	10	8～9	<p>プレス棟Aライン6号機付近にて被災者がフォークリフト左横でフォークリフト運転手と話をしていた。話が終わりフォークリフト運転手は被災者がその場を離れたと思い、右旋回をしながら前進し</p>	29	11502	7		100～

			た。その時、巡回してきたフォークリフトの左後タイヤに巻き込まれ右足くるぶしを骨折した。					299
2017	10	18～ 19	倉庫内でフォークリフトにて、入荷収納時、入荷シールを見て、ロケーションに行く時に、たまたまそのロケーションの前にフォークリフトが止まっていて、その横をフォークリフトで通り、そのロケーションの商品を収納し、次のロケへ行く時に、バックし、転回をしていたら、左足がフォークリフトから出ていたため、重量ラックとフォークリフトに足が挟まり骨折した。	47	50101	7		10 ～ 29
2017	10	15～ 16	製品倉庫内でフォークリフトから降りて合紙を取り、製品にのせようとした際に、他のフォークリフトが停車しているフォークリフトに追突し、その衝撃で30～50cm後退しフォークリフトの後輪で足を踏まれた。	53	40301	7		10 ～ 29
2017	10	8～9	営業所にて、リフトマンに荷下ろしをしてもらっている時、ジョルダー（荷下機材）がトラックから落ちそうになったのでリフトマンに作業を中止する様に声をかけて、本人がリフトの爪の下に入り、ジョルダーを直していた。リフトマンの操作していたリフトの爪のさし具合が不安定（前傾していた）だったため、パレットに載っていた荷物（紙シートやプラスチック板）がリフトマンの何らかの操作（リフトが後進した可能性）でずれ落ちて、爪の下にいた本人に崩れ落ちて受傷した。	50	40301	4		100 ～ 299
2017	10	13～ 14	養殖場餌解凍作業現場にて、解凍タンク（冷凍餌）をフォークリフトにて移動中、後方へバックした際に当事者が巻き込まれ転倒し、右足を骨折した。運転者は後方確認し後方へバックしたが、当事者に気がつくのが遅く事故となった。また当事者もフォークリフトに気がつくのが遅く逃げ遅れた。	47	70209	6		10 ～ 29
2017	10	14～	社内移動の積み込みの際、短爪リフトマンが運転席側の1パレット目の製品を車両上に積載時、当社乗務員がリフトの横で養生材を差し入れていた。乗務員が養生材から手を離す前に、リフトマンが	27	50101	7		50 ～

		15	フォークリフトを右にスライドさせ、バックレストが乗務員の左手甲に当たり車両と挟まった。					99
2017	10	23～ 24	倉庫前室からリーチフォークリフトでバック走行しており、ホクトの部屋へシャッターを開け入室しようとした際、パレットがあり、止まろうとしたところ止まれず左足をリーチフォークリフトとパレットとの間に挟んでしまった。	41	170101	7		10 ～ 29
2017	10	23～ 24	出荷前室からリーチフォークリフトでバック走行しながら3番冷蔵庫のシャッターを開け入室しようとした際、パレットがあり止まろうとしたが止まれず左足くるぶし部分をリーチフォークリフトとパレットとの間に挟んでしまった。リフトが荷物の載ったパレットに衝突すると思い慌てて咄嗟に足を出してしまった。	41	40301	7		30 ～ 49
2017	10	9～ 10	Aが運転するフォークリフトに被災者が近より書類の受け渡しを行った。書類を渡したAは、まだ被災者がフォークリフトの近くにいることを確認せずにフォークリフトを右に急旋回させた。その時、フォークリフトの後輪が被災者の右足にのり上げ負傷した。	22	10609	6		100 ～ 299
2017	10	14～ 15	4tから産パイガラを荷卸時、ガラが4tダンプ開閉場所に挟まりそれを取り除こうとした際、左手を挟まれ負傷。	27	30309	7		—
2017	11	23～ 24	卸売市場構内で、トラックに玉ねぎ積み込みの為、フォークリフトに玉ねぎ1トンを乗せ車に向かう際、建物入り口に勾配があり、斜めに進行した際にバランスが崩れ、フォークリフトが倒れ、その際投げ出され右足を打撲した。	41	40301	2		10 ～ 29
2017	11	17～ 18	冷凍倉庫内作業中、ピッカーリフトで商品を積み付けしている際に、バランスを崩し3mの高さから商品と一緒に両足から落下した。	38	40301	1		50 ～ 99
2017	11	18～ 19	食品物流センター内（冷蔵庫）の中で、相手方のフォークリフトがバックしてきて、自分の背後から追突してきて、フォークリフトのタイヤに足を踏まれた。	49	40301	6		50 ～ 99

2017	11	12～ 13	当日は朝からコンテナの荷卸し入庫と忙しく、なかなか思うようにピッキングが進まなくエフシールが溜まる状態だった。リフトに乗って、空パレットを3枚重ねて移動した際、1番上のパレットがずれていたのに気付かなくてパレットが棚の支柱に突き刺さり、パレットが押されてきて運転席の間に足が挟まれた。	52	80109	7	10 ～ 29
2017	11	17～ 18	利用者居室のトイレにて排泄介助中、しゃがんだ姿勢でズボンを穿かせる際に腰の負担軽減の為に巻いていたベルトが肋骨に引っ掛かり圧迫されたことで負傷した。数日間痛みを我慢していたが、一向に良くならない為、医療機関を受診したところ骨折していた。	26	40301	6	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	就業場所であるうどん工場にて1人で製麺機を使い、うどんの生地を伸ばす作業を行っていた。その際にうどんの生地の繋ぎ目を直すため、上下に動作するローラーとコンベアーとの隙間（通常3～4cmある）に生地の上から右手首を挟まれて負傷した。	25	30302	4	10 ～ 29
2017	11	7～8	当社資材置き場にて当日の現場作業に使用する資材の積み込みをしていた際に足を滑らせて転倒し、右腰を強打し負傷したものである。	61	40301	6	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	就業場所である市役所にて外周りの落葉清掃作業を行っていた。ごみ置き場横にある手洗い場で手を洗おうとした際、手洗い場にある敷物に足を取られて誤って転倒した。頭と腰を打ち被災したものである。	48	40301	7	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	店舗内にて洗車作業をしている時、ルーフを洗って脚立から降りる際に側溝の角に着地したため、足首を外側に捻る様に体重がかかり転倒して負傷したものである。	63	50101	1	—
2017	11	17～ 18	店舗外において配送用のカゴを片付けようとグリストラップの上を歩いていたら3つある蓋の内1つが外れ落下した。	27	10709	6	50 ～ 99
			機械に材料を補充している時、おてふきを一枚ずつ機械でエア吸引し、自動でレーンに置いているが、おてふきの角が曲がるなどし				300

2017	11	10～ 11	ていると吸引が出来ず、取れないことがあるため、機械吸引部分が上下する間におてふきを取ろうと、咄嗟に手を出してしまい、レバーに指を挟み負傷した。	48	80401	3	～ 499
2017	11	15～ 16	出荷作業中にフォークリフトの左側車輪前部に乗っかり、商品を取り、パレットに積もうとしたところ足を滑らせ、地面に足をついた時に挫いてしまった。	47	80401	1	1～ 9
2017	11	8～9	選別作業場に移動していたところ、鉄箱を積み運転するフォークリフトが視界が悪い状態のまま運転し、前進してしまったため、移動中の作業員に気付かず接触した。運んでいた鉄箱と地面の間に足を挟み負傷した。	38	80109	6	100 ～ 299
2017	11	8～9	選別作業場に移動していたところ、鉄箱を積み運転するフォークリフトが視界が悪い状態のまま運転し、（本来、フォークリフトの移動は後退すべきところ、）前進してしまったため、気付いてもらえず、轢かれてしまう。鉄箱と地面の間に足を挟んでしまい負傷した。	38	170101	7	50 ～ 99
2017	11	5～6	置場にて歩行中、後退して来たフォークリフト（当社社員運転）右側後部車輪が左足に接触した。	44	80109	6	500 ～ 999
2017	11	9～ 10	工場内において、ショットブラスト機バケットエレベーター取替作業の打ち合せを、シャットブラスト機の前を（機械から1m程離れた場所）機械の方を見ながら取引先としていた際に、作業中のフォークリフトが後方で動いているのに気付かず、バックして来たフォークリフトに体が当たり、転倒したところ左足甲の上をフォークリフトのタイヤが乗り上げ骨折した。	50	80109	7	10 ～ 29
2017	11	21～ 22	倉庫の棚と棚の間の通路で、商品を手作業で棚へ収納している時、フォークリフトが後ろ向きで被災者の後を通ろうとしていた。作業を終え後を振り返った瞬間に、右足つま先がフォークリフトと後輪	32	170101	7	50 ～

			の下敷きになった。着用していた安全靴のつま先部に穴があいており、中指がはみ出していた事も影響し、右足中指を負傷した。						99
2017	11	9~10	商品が置いてある倉庫の中で、高さ2mのロール状の商品の数量をチェックしている時、本来使用するべき踏み台を使わずに、フォークリフトの爪を80cmの高さまで上げて、その爪の上に乗って作業していたところ、足を滑らせて床に墜落し、後頭部と腰を強打した、後頭部から出血、および腰を骨折した。	64	80109	1			50 ~ 99
2017	11	7~8	製品堆積場において、防火水槽端板の堆積作業中、フォークリフトに備え付けの足場台に乗り、吊金具を取り外し終えた時に、停車していたフォークリフトの駐車ブレーキの利きがあまくなっていたことで、後退し始め、リフトが製品から離れてきたため転落の危険を感じ、高さ1.8mの足場台から飛び降り、左踵骨を骨折した。	60	10901	1			50 ~ 99
2017	11	21~22	倉庫内の棚と棚の間の通路で、商品を手作業で棚へ収納している時、フォークリフトが後ろ向きで被災者の後を通ろうとしていた。作業を終え、後を振り返った瞬間に、右足つま先がフォークリフトの後輪の下敷きになった。着用していた安全靴のつま先部に穴があいており中指がはみ出していたことも影響し、右足中指を負傷した。	32	80401	7			50 ~ 99
2017	11	16~17	組立工場内にて、バッテリーリフト（1t用）で工場入り口を通過中、天井に当たらないよう確認しながら製品を運搬していたところ、安全靴は着用していたが足元の確認を怠ったためリフトのタイヤに右足を挟まれ、右足小指を骨折した。	21	11409	7			50 ~ 99
2017	11	15~16	会社の資材置場で、鉄板片付け中、同僚がフォークリフト運転、補助（被災者）がフォークの爪の間に立ち、鉄板の間に角材をかまし、仮置き角材を抜く際に、リフトの爪から鉄板が外れ落ちた。慌てて手を抜いたが、間に合わず親指を挟んでしまい、右手親指骨折、皮膚裂傷した。	44	40409	7			30 ~ 49
			工場敷地内において荷物（木材）をトラックに積込作業中であつた。従業員がフォークリフトで運転席側の積込後、助手席側の積込						

2017	11	10～ 11	作業中フォークリフトの荷物で運転席側の荷物を押ししまい、運転席側の荷物（5本1束、約600kg）が落下し、運転席側荷台後方にいた被災者左足に当たり負傷した。被災者は当初荷台の上だったが、荷台上の伝票が落下し、拾うため荷台より降りた際、被災したものである。	36	40301	4	10 ～ 29
2017	11	10～ 11	倉庫内エレベーターにて1階から2階の作業場へ上がる際、リフトが先にエレベーター内において、本人がその後ろに乗り込んだ。その後リフトが後退してきた為接触した。	27	40301	7	100 ～ 299
2017	11	10～ 11	派遣先、1階エレベーター内にて、1階休憩所から2階の作業場へエレベーターで上がる際、リフトが先にエレベーター内において、本人がその後ろに乗り込んだ。その後リフトが後退して来た為接触した。	27	170101	6	300 ～ 499
2017	11	18～ 19	S1ライン供給工程M梱エリアで、部品パレットをシューターに投入する際、シューター前で停止しフォークを上昇させてから前進したが、上昇の高さが低くシューターと部品パレット下部が当たった。当たった衝撃でハンドルを持っていた左肩に痛みを感じたが、その時は大丈夫と思い作業を継続し帰宅したが、翌日左肩の痛みが出た。	64	11709	3	100 ～ 299
2017	11	11～ 12	事業所内で、フォークリフトのガスボンベが空になったため、新しいボンベと交換する作業をしていた。空のボンベを新しいボンベと交換し、フォークリフトへガスを供給するホースをボンベに取り付け、バルブを開いたが、ホースがしっかりとハマっていなかったため、ホースが外れ、ガスが噴出し、両手に凍傷を負った。	34	40301	11	100 ～ 299
2017	11	19～ 20	場内において、出荷作業終了後、保管商品の在庫を取りに行くために、倉庫内を歩いていた。その際、突然後方より、弊社社員が運転したフォークリフトがバックしたままぶつかってきた。衝突した際、フォークリフトのタイヤが左足を轢いたため左足小指を骨折した。	24	170209	7	1～ 9

2017	11	9～ 10	工場内にて溶接の機械（オペレーション）作業中、リフトが作業エリアに直進してきて溶接の機械操作中の作業員と接触した。	39	170101	6	30 ～ 49
2017	11	11～ 12	本社工場から、4tトラックでポリ容器及び材料鍛造を運搬し、工場においてフォークリフトで荷降ろし作業を行っていた。その際、ギアをバックに入れた状態でパーキングブレーキをせず下車したため、フォークリフトが後退し始めた。被災者は慌ててパーキングブレーキをするかギアをニュートラルにしようとフォークリフトに飛び乗ろうとしたため、上半身はフォークリフト内に入ったが、その際、手がハンドルに触れたため、フォークリフトが曲がり、下半身が産廃用バケットにあたり、遮られる形となったため、腹部がフォークリフトのダッシュボード部で押される形となり、外傷性肝損傷及び腸間膜損傷を負った。	64	11502	3	100 ～ 299
2017	11	14～ 15	当社倉庫内にて高所商品ラックより取り出し作業中、自走式昇降作業リフトを3m位の高さから足を踏み外しコンクリート床に落下、右顔面骨折の怪我を負った。	35	80101	1	10 ～ 29
2017	11	19～ 20	営業所倉庫内でフォークリフトのバッテリーを交換している時に、リフトにバッテリーを挿入する時に、リフトとバッテリーの間に指を挟む。	40	40301	7	30 ～ 49
2017	11	10～ 11	工場内の金属製の配管に物が詰まり、縦に通っている配管の継手部分を分解してリフトで上部の配管を吊るして、下部のL字部分に左腕を入れて取り除く作業をしていたところ、吊るしていたロープがずれて上部の配管が落下した。左腕の上に落ちて挟まれ打撲した。	72	10801	4	1～ 9
2017	11	10～ 11	1Fにて住宅資材を150cm程の高さの棚に補充をしている際に、後ろを通ったリフトに右足を轢かれて右足小指と踵を亀裂骨折してしまった。現場の足元には何もなく、環境は良いが他現場に比べると少し動線が狭い環境であった。双方の注意不足により起こってしまった。	39	40301	7	10 ～ 29

2017	11	10～ 11	1Fにて住宅資材を150cm程の高さの棚に補充をしている際に、後ろを通ったリフトに右足を轆かれて右足小指と踵を亀裂骨折してしまった。現場の足元には何もなく、環境は良いが他現場に比べると少し動線が狭い環境であった。双方の注意不足により起こってしまった。	39	170101	6	10 ～ 29
2017	11	14～ 15	倉庫営業1課倉庫内2Fで、リーチリフトに乗務して入出庫作業に従事していた。小休止のためリーチリフトを駐車位置に移動した。停車していたカウンターリフトの横を通過して左に（カウンターリフト側）旋回した時、リーチリフトの右前輪がカウンターリフトのフォーク部分に乗り上げてリーチリフトの進行方向が変わり、パレット積みの保管商品に接近した。リーチリフトを停止させようと運転席から右足を接地させた時、パレットとリーチリフトに右足が挟まれて右足を骨折した。	58	40301	7	50 ～ 99
2017	11	14～ 15	工場前にてフォークリフトの左側を、仕事の話をしてしながら平行して歩いている時に、フォークリフトが右側に急展開し、左後輪で右足甲と右足指を踏まれる。	44	80209	7	10 ～ 29
2017	11	18～ 19	中古パーツ（エンジン・トランスミッション）を保管している倉庫内で、中古パーツ（トランスミッション）の整理中、フォークリフトを棚に横付けした状態で棚に入れようとしている時に、操作を誤り、棚とフォークリフトで左足を挟んでしまった。	32	80209	7	10 ～ 29
2017	11	21～ 22	ホーム上において荷役作業中、リフトでの作業を終え、後ろ向きに降りた際少し足を伸ばすような形になり、地面についた右足に痛みを感じたものである。	51	40301	3	10 ～ 29
2017	11	11～ 12	廃プラスチックを出荷するため、フォークリフトにてトラックへ荷物（フレキシブルコンテナ）を積み込む作業に立ち会っていたところ、バック中のフォークリフトに接触、転倒し、右後輪に右足太ももを踏まれた。	69	150102	6	300 ～ 499

2017	11	17~ 18	資材倉庫でハンドリフトで荷物を運んでいる時にハンドリフトがへこみに引っ掛かった為、人に後ろから押してもらい本人は引っ張っていた。ハンドリフトがパレットから外れ、そのはずみで、ハンドリフトが足に当たり骨折した。	46	10102	7	30 ~ 49
2017	11	2~3	荷主工場構内にて、トレーラーに積荷のため、緩衝材を準備していたところ、積荷へのハンディスキャンをしていた構内作業リフトマンが上手く読み取れず、当方乗務員に気付かず後退したため、リフト右後部とトレーラー荷台のアオリに挟まれる形となり、当方乗務員が負傷したものである。	42	40301	6	50 ~ 99
2017	11	14~ 15	工場内で、フォークリフト横に積み上げてあるベッド部材の材料（高さ2m）の数を確認の為、フォークリフトのステップ台の上に乗り、確認後ステップ台から飛び降りた時、胸椎を負傷した。当日から少しの痛みがあったが受診せず、我慢していたが、痛みが続いた。	61	10501	3	10 ~ 29
2017	11	13~ 14	構内で、フォークリフトを運転し、2?の金属製の容器をバックで運搬中に、後方確認を怠り、駐車中の無人車両へ逆突した。事故当日は症状がなかったが、二日後位から首と腰が痛み始めて、その後我慢できなくなったため受診した。	33	150102	3	30 ~ 49
2017	11	13~ 14	当社作業場にて、高さを測ろうとして被災者がフォークリフトのバケット部に乗り、バケットを上まで上げた後、床まで下げようとしていた。約2m弱の高さまで下げたところで一旦止めた後、バックしながらバケットを下げようとしたが、バケットが下がらなくなり、再度下げようと操作したところ、バケットが急に下がり転倒し、頭と肩を強打した。	38	80209	1	1~ 9
2017	12	11~12	フレイク工場内の原料一時保管用冷蔵庫前において、冷蔵庫入口上部の清掃作業を、フォークリフトに装着したパレットに乗り行っていた。パレット上の作業者は装着が決められているヘルメットを装着しておらず、また、リフト操縦者も経験が浅く、リフトを後退さ	49	10102	1	50 ~

			せる際に、パレット上の作業者に安全姿勢を取るよう指示しなかったため、後退時にリフトが揺れ、その際、パレット上の作業者がバランスを崩し落下し、頭と腰を強打した。					99
2017	12	7~8	配送先の土場敷地内で、車から降り、ダンボール製品を荷卸し作業開始前、凍結路面で滑り転倒した。その時、右手を強打し骨折した。	50	40301	1	~	49
2017	12	23~24	倉庫内にて、フォークリフトのツメに上がり、製品（ダンボール）のずれを修正後、ツメから降りる際にバランスを崩し、安全靴がぬげて左足踵から地面に着地して、踵を打ちつけた。	42	40301	1	~	49
2017	12	8~9	フォークリフトにバケットを付けて除雪作業中、フォークリフトの上下を作動するチェーンが滑車より一部外れ作動できなくなった為、倉庫内でフォークリフトのタイヤ上部に上り、チェーンを滑車に戻そうと引っ張ったところ、滑車にチェーンが戻ると同時にバケットが急に落下し、手をかけていたチェーンも急速に動き出し、左手の親指を除く4本の第一関節又は第二関節上部を切断した。	44	80409	8	~	29
2017	12	17~18	フォークリフトに乗り、構内にて作業中、フォークリフトをバックにて走行していたところ、マスト部分を下げ切らずに走行してしまった為、ドアを通過する際、ドア上部にマストが当たり、その反動で後ろへ投げ飛ばされ、左肩と腰を打った。	53	40301	3	~	299
2017	12	13~14	当社第一工場入口付近で、廃棄物収納ボックスをトラックから降ろす作業中に、ボックスを持ち上げたフォークリフトが何らかの原因ではずれ、ボックスとトラックの床に左手が挟まれ、指3本を骨折した。	39	150102	7	~	29
2017	12	11~12	工場敷地内にあるプレス製品ヤード内で、製品置場の為、従業員がフォークリフトを運転して作業している時、フォークリフトの進行方向に当社被災従業員が立っていた、又は歩行していたところ、フォークリフトの右フロントタイヤと右足が接触し、右ひざ下あたりがタイヤの下敷きとなり負傷した。	60	11209	6	~	49

2017	12	20~21	被災者は、事業所冷凍倉庫内を歩行中、側面から、製品の積まれたパレット（高さ計1,955mm）を移動しようとしたフォークリフトが接触した別のパレットと、壁面に置かれていた鉄製の台車との間に両足を挟まれ、被災した。移動させようとしたパレットが、相互に完全な死角を作り出していた。	47	10104	7	100 ～ 299
2017	12	2~3	倉庫1階荷捌き場で、商品にストレッチフィルムを巻いて梱包している時、フォークリフトが前進して近づいて来ているのが死角になっており、作業者の右足が走行中のフォークリフトの前方に出て、フォークリフトに積んでいた空パレットと作業者右足親指がぶつかってしまった。	22	40301	6	100 ～ 299
2017	12	10~11	当社業務請負先敷地の屋外にて、空オリコン整理のために運行されていたフォークリフトが後方を確認せずバック走行したため、歩いていた被災者に気づかずに接触してしまい、被災者が受傷した。	48	170209	6	10 ～ 29
2017	12	2~3	倉庫1階荷捌き場で、商品にストレッチフィルムを巻いて梱包している時、フォークリフトが前進して近づいて来ているのが、死角になっており、作業者の右足が走行中のフォークリフト前方に出て、フォークリフトが積んでいた空パレットと作業者の右足親指がぶつかってしまった。	22	170101	6	—
2017	12	14~15	排水処理場前で、外れてしまったフォークリフトの爪（3本爪の中央）をはめる際、爪のフック部をフォークリフト本体のレールにはめる時に、爪をレールの切り欠き部に手で移動させようと爪を左手で持った事が原因で、爪が切り欠き部にはまった事により爪が下がり、爪と角材の間に左手薬指が挟まり被災した。	60	10901	7	30 ～ 49
2017	12	9~10	被災者は、南側で作業の進捗確認を行っていた。その際、別の作業で立ち会いのため現場を訪れた荷主の来所を営業担当者に連絡するためPHSを操作しようとしていた。その時、近くでVAN詰め作業中の協力会社作業員が運転する4tフォークリフトがコンテナ内より後進しながら旋回した際に、左後輪が被災者の左足に乗り上げ負傷し	61	50201	7	100 ～ 299

			た。				
2017	12	7~8	当社資材置場において、倉庫の電球交換作業（高さ7500mm）を事業主と行っていた際（フォークリフトの爪にコンパネをのせ、梯子をかけて交換）、被災者がリフトの屋根にのり電球を事業主に渡し終えたところ、事業主が梯子から落ち、それと同時かは不明だが、被災者もリフトから地面に落ち、全身を地面に強打し負傷し、翌日に死亡した。（リフトの屋根から地面までの高さ、約2000mm）	76	30199	1	1~9
2017	12	11~12	会社倉庫内において、フォークリフトでパレットの商品を下ろしていたところ、運転手の不確認で、被災者の左足先がパレットの下にあることに気づかず下ろし、左足先を挟んでしまった。	34	11202	7	10~29
2017	12	5~6	派遣先構内の空箱置場にて、空箱整理の作業中、派遣先従業員の運転するフォークリフトが、被災者に向かって後退し接触した。その際、被災者の右足に後輪タイヤが乗り上げ受傷した。派遣先従業員がバックする際、後ろを確認したときに右側にいた被災者が、気がつくまで左側に移動しており接触した。	38	10805	6	100~299
2017	12	5~6	派遣先の空箱置場にて、空箱整理の作業中、派遣先従業員の運転するフォークリフトが、被災者に向かって後退し、接触した。その際、被災者の右足に後輪タイヤが乗り上げて受傷した。	38	170101	6	100~299
2017	12	20~21	東側スロープに自家用車を駐車し、青果棟内へ入るため徒歩にて移動中、青果棟入口付近で、バックしてきたフォークリフトに背後から当てられ、そのまま前向きに転倒した。その上をフォークリフトが移動したため、左足を轢かれ骨折した。	58	80109	6	100~299
2017	12	11~12	工場の倉庫内を休憩のため移動しているとき、委託業者の従業員がフォークリフトで荷物を荷物用エレベーターに乗せようとしていた。前方が見えていなかったため、荷物が本人の右腕と右脇腹に当たって打撲した。	68	10109	6	100~299
			大型トラックの荷台で、運転席の方を向いて手積み作業を行ってい				

2017	12	14~15	たとき、斜め後方から段ボール箱が倒れてきて、下敷きになった。ヘルメットを着用していた頭部は守られたが、右のこめかみ辺りを強く打った。段ボール箱は、フォークリフトに3段で積まれ、トラックに積み込む際、段ボール箱が積まれたパレットを持ち上げた状態で、手前の3箱が倒れた（1箱20kg程）。なお、作業は被災労働者とフォークリフトの運転手2名で行っており、積み込み時に声掛けはしていなかった。	39	40301	5	30 ~ 49
2017	12	7~8	ホーム下の重量品置き場にて、同僚がフォークリフトでロット貨物の積み込み作業中、空の状態の後方を確認せずに後退した。その際、後方でホーム上の商品を取ろうと背を向けていた被災者の足の甲をリフト左後輪で踏み、「痛い」という声に驚いて更にアクセルを踏み込んだため、右足首を踏みつけてしまった。	52	40301	7	50 ~ 99
2017	12	4~5	青果物の仕分け作業中に、従業員の運転していたフォークリフトが後方確認が不十分な状態で後進してきたため、後輪に右足親指付近を踏まれ、負傷した。	63	40301	7	100 ~ 299
2017	12	9~10	A-PET製造機前の作業デスクへ移動しかけたとき、バックの状態の後退してきたフォークリフトに左足側面が踏まれ負傷した。	56	10899	6	50 ~ 99
2017	12	20~21	構内ホーム下にて移動中、後退してきたフォークリフトに接触して転倒したとき、そのまま後輪が当人の足に乗り上げた。	39	40301	6	100 ~ 299
2017	12	9~10	1階5番バースにてチャーター便の入荷対応時、フォークリフトで商品を搬送中、リフトを停車して降りようとしたところ、服の右袖がリフトレバーに引っかかって、リフトが停止せず、後ろに積んであったパレットと自身が運転するフォークリフトの間に左足が挟まれた。	56	50101	7	50 ~ 99
			支店の構内（ホーム上）で荷物の積み込み作業を始めようと、事務所から伝票を持って自身の作業場に移動中、年末で荷物があふれて				

2017	12	18~19	いる中、一旦プラッターをやり過ぎたので安心して伝票を見ながら歩いていると、そのプラッターが勢いよく右斜めからバックしてきて、気づくのが遅れて左足を挟まれ転倒し、左足の甲を負傷した。	44	40301	6	50 ～ 99
2017	12	13~14	自社工場内において、紙屑が入ったフレコンパックをリフトで移動作業中、フレコンパックを補佐していた被害者が、フレコンパックから離れる際に体のバランスを崩し、後ろから来たリフトに左足先を轢かれた。その際、反射的に足を抜こうとして、足首を無理に捻り骨折した。	70	80109	7	30 ～ 49
2017	12	15~16	営業所内で配送終了後、車庫内のパレットを降ろしている作業中のフォークリフトの後方に回り、接触して転倒し、左足首を右後輪に踏まれた。	52	40301	6	50 ～ 99
2017	12	10~11	作業場においてリフト作業中に、荷物とリン木を整えるためにフォークリフトを止めて、前方の荷物の下にリン木を通そうとしたとき、リフトが少し動き、リフトの爪とリン木の間指を挟まれ、右示指を負傷した。	23	40301	7	10 ～ 29
2017	12	16~17	冷蔵倉庫内で荷物出庫準備作業をしている際に、3段目にあるパレットを抱えたとき、荷物が隣の荷物に接触していたため、その荷物を直そうとした。その際、リフトのヘッドガード側から登ろうとして、途中でバランスを崩し転落した。	20	80401	1	10 ～ 29
2017	12	18~19	資材置き場で足場材の片づけ中、誤ってバックしてきたフォークリフトに気づかず、右足を負傷した。	17	30209	7	1～ 9
2017	12	4~5	弊社営業社員である被災者は、青果物商品の荷捌きのため、ハンドリフト（手動人力）により商品を後退しながら移動させていた際、別の弊社社員が別商品を移動するために運転するフォークリフトの右側後輪と、被災者の左足首（かかと）が接触して受傷した。	30	80109	6	10 ～ 29
			食品物流倉庫で棚卸しの際、高さ1m位に位置したパレット（縦70				

2017	12	15~16	cm、横1m10cm) の上に乗り、棚卸しの食品を点検中に右足を踏み外し、顔からコンクリート地面に落下した。その際に顔面を打撲し、鼻から出血し、右肋骨を骨折して救急車にて病院へ搬送された。	34	40301	1	10 ~ 29
2017	12	10~11	商品を取りに行くためバック走行で移動していたところ、フォークリフト内側の充電部の小窓が開き、安全装置が作動して全電源が切れたため、操作が不能となった。その際、焦りと走行の勢いにより、ブレーキが利きにくい状態になり、収納ラックとの間に挟まり、前のめりで圧迫され負傷した。	38	50101	7	10 ~ 29
2017	12	9~10	野菜の運搬のため、フォークリフトを運転中に、運搬中の野菜の置き場所を上司に聞くため降車したとき、ギアを停止に変えたつもりがバックになっていたため、フォークリフトがそのまま動き出し、それを止めようとして転倒し、左足をフォークリフトに轢かれた。	29	80109	2	50 ~ 99

出典：https://anzeninfo.mhlw.go.jp/anzen_pgm/SHISYO_FND.aspx(職場のあんぜんサイト)

Return to : https://www.jisha.or.jp/international/topics/202206_06.html